もう少し、川のほとりで

ウェブ読書版



Mea Zen · Colombine MichelangeLove

Travel2Cityのオリジナル写真に着想を得た、挿絵付きの旅のフィクション。

80編の物語・320点の挿絵

目次

第72話 小さなものが、私たちを見つける
第73話 鉛筆はひと休み
第74話 街が色を干す日
第75話 桃ひとつ、予定はなし
第76話 いい名前はあとからやってくる
第77話 遠回りして帰ろう
第78話 重力にひと言
第79話 大切な一日の、ちいさな繕いもの
第80話 華やかな登場の練習
第81話 噴水のそばで五分間
第82話 探していたのは、そのひと言
第83話 とても大事な小包
第84話 誰も勝たなかった一分間
第85話 ポケットの中の入り江
第86話 写真を撮る人はどこ？
第87話 旅に連れていける小さな家
第88話 案内役には別の予定
第89話 書きかけの最後の一行
第90話 シャボン玉には本気です
第91話 本を開くと、そこは庭

目次

第92話 どうしても畳めない地図
第93話 手のひらのメロディー
第94話 「ありがとう」はまだ終わらない
第95話 小石は海辺に残った
第96話 なんでもない一日の博物館
第97話 のんびりした朝のレシート
第98話 椅子をもう一脚
第99話 風がやんでも、お茶はまだ
第100話 隠し味は、ひとつの質問
第101話 探していたのは、この階
第102話 海はポーズをとらない
第103話 旅のお供に、葉っぱ一枚
第104話 水に濡れなかった潜水艦
第105話 写真を撮らずに
第106話 もう一歩だけ
第107話 競争のない絵はがき
第108話 風の中で数えて
第109話 仕事のあとの港
第110話 城壁の下を通る道
第111話 石の羽根

目次

第112話 花壇に道をあけて
第113話 名刺を持たない彫像たち
第114話 三人への招待状
第115話 手のひらひと幅の港
第116話 ボンネットに浮かぶ雲
第117話 まなざしの向かう先
第118話 岸にとどまった線
第119話 窓の向こうの色
第120話 四通りの見上げ方
第121話 自分の速さで、一段ずつ
第122話 ブラガの三つの眺め
第123話 頭の上の家
第124話 四つ折りの地図
第125話 枝を伸ばす石
第126話 路地の魚
第127話 黄色い塔の下の日陰
第128話 川が少しずつ姿を見せる
第129話 通りの向こうの窓
第130話 もう一度めぐり会った模様
第131話 庭をぐるりとひと回り

目次

第132話 噴水に寄り道
第133話 灯りは頭上に残った
第134話 曲がった梁の下で
第135話 木に映る緑
第136話 しばらく立ち止まれる場所
第137話 屋根のない部屋
第138話 石に刻まれた葉
第139話 窓辺の石
第140話 四度、上を見上げて
第141話 弧を描くベンチ
第142話 青い門の下で
第143話 風にはためく布
第144話 木々のあいだの城
第145話 タイルのある曲がり角
第146話 まるく切り取った空
第147話 折り目のあるページに谷を描く
第148話 谷の最後のひと重
第149話 四つの敷居
第150話 城壁のまなざしの先
第151話 もう少しだけ、川のそばで

第72話

小さなものが、私たちを見つける

ザ リビエラ・メア・ゼン（Mea Zen）・コロンビーヌ・ル・チア・II

Saint-Paul-de-Venceでは、小さなゲームを発明する3人の友人がいます。それぞれが他の人が見逃しているかもしれない細部を選びます。

メアは、今日の壮大な何も見ていないことを示唆した石のアーチの下に。ランチを含んだか、コロンビーヌさんに尋ねました。ル・チアはすでに地面を調べていました。ルールは単純でした。それぞれが小さな発見で、勝者の投票はありませんでした。町は、自分たちのために何かを準備しなければならなかった。どんなことにも手がかりにならなかった。

オリジナルのTravel2Cityの写真に触発されたイラスト。旅程やドキュメンタリーの記録ではありません。キャラクター、対話、プロップ、構成や照明は、芸術的な解釈です。

アーチの下のゲーム





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

サン＝ポール＝ド＝ヴァンス

アーチを超えて、車線が狭くなり、会話をしました。グランプランは1つの質問になりました。購入できなかったら、お持ち帰りはどうなりますか? メアは彼女のノートブックを閉じたまま。コロンビーヌは日中の壁の匂いを提案したが、ル・チアはそのような発見が示すのが困難であると主張した。笑い声をあげて、そのステップを遅くしました。

> 「**すべて正しい。今日は、私たちの目で収集します。**」

私たちの靴の下の花





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

サン＝ポール＝ド＝ヴァンス

ル・チアは、最初は止まりました。小さな石の足元は、水に必要のないほぼ花輪を形成しました。メアは、彼女の靴を端から離れて移動しました。コロンビーヌは、彼女の視線だけを下げ、彼女は午前中あまり高く見ていたと認めました。ル・チアは勝ち誇ったしぐさもせず、すなおに褒め言葉を受け取った。発見は、次のペアの渡る靴のために忍耐強く待たしました。

> 「**この花を生き続けることができました。**」

バーの背後にあるリトルカンパニー





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

サン＝ポール＝ド＝ヴァンス

コロンビーヌは、低いウィンドウでジャグを選んだ。一つは重要な、別の少し聞き、そして3分の1で、彼女はゴシップを聴いたと言いました。メアは再び窓を見ました。しばらく前に、陶器が入った。今では、それぞれの作品が個性的なものだった。ル・チアは、その周りの花を示しました。風景は、明らかに。誰も何も触れない。通りから見ると、その性能は完全に見えます。

> 「**黄色は、それが許すよりも多くのことを知っています。**」

泊まる鳥





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

サン＝ポール＝ド＝ヴァンス

メアは、発見を過ぎ去った。淡い石の光線に囲まれた楕円形のニッチに小さな白いセラミック鳥が座っています。そこまで飛んでいて、それで向かうように見えなかった。他人を呼んだ。肩を肩に立たせ、見上げる瞬間のために。路面を守ったか、コロンビーヌは不思議でした。ル・チアは、訪問者が急いでいなかったことを確かめていたと思った。

> **「もうひとつの瞬間にとどまりましょう。日本酒のために」**

荷物にならない拾いもの

その夜、メアは、円、ジャグ、鳥を書いた。3つの名前をつけておきましょう。観光スポットやショッピングリストの一覧もなかった。自分の目でしか見ないと、その場所が大きくなるほどを記録しました。

Mea Zen・Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第73話

鉛筆はひと休み

スペイン・Mea Zen・II

メアは、Córdobaで単一のアーチをスケッチするつもり。より慎重に見て、すぐに彼女は描く必要があります。

空白のページにはたくさんの部屋がありました。メアは、鉛筆、いくつかの時間と控えめな計画を持っていた: 1つのアーチ、建物全体ではありません。それから彼女は見ました。アーチは繰り返し、重なり、すべてのステップで変更されます。ノートは突然小ぶりに見えましたが、幸いにも不満がなかった。

オリジナルのTravel2Cityの写真に触発されたイラスト。旅程やドキュメンタリーの記録ではありません。キャラクター、対話、プロップ、構成や照明は、芸術的な解釈です。

一つだけ選ぶ





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

コルドバ

歩いてすぐ近くのメア stoodでノートブックを開いた。正面に1つのアーチ、後ろに3分の3つ目のアーチが現れます。一番単純だったのは? 彼女の鉛筆は、彼女自身で笑顔に十分な長さを抱いた。休息して、すでに自分の仕事を割り当てていました。時折、彼女は単一の柔らかい曲線を描きました。最初は結構でした。

> 「**今日の観点試験はありません**。」

線が動かす





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

コルドバ

クローズアップ、シンプルな曲線はもはや単純ではありませんでした。周りのエッジは、光と陰間の他のリズム、小さな装飾やシフトが登場しました。メアは彼女の鉛筆を下げました。紙は、彼女の何も聞かなかった。彼女はすべての要求を自分自身にしました。彼女は一歩サイドウォーターを動かした。全体が変更され、彼女の未完成ラインは最終的にすべてのものを含むために終わる停止することができました。

> 「**コピーがなくてもいい。自分はやりたい**」

キャプチャに残らない





アーカイブの写真

イラストでたどる旅 · Mea Zen

コルドバ

ノートブックを閉じ、両手で保持しました。それから彼女は頭の上にどれだけのスペースが上昇したかに気付きました。ミュートされた足跡が下を通過しながら、ボールトでライトリンガーが高い。それらを記述しようとしなかった。彼女は単に立っていた, 息をつけて、見ていた彼女の目は、その瞬間を逃していたものに戻った。一方、鉛筆は最初の午後に楽しんだ。

> **「しばらくの間、私の目がちょうどいい」**

光は、外に続く





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

コルドバ

ストーンファサードの外で、暖かさは彼女の頬に戻ってきました。ノートブックには1つの曲線しかなかったし、メアはそれを改良する必要はありませんでした。通り沿いに渡る会話、片隅を削った椅子。終始の引越しを待たずに続く日。鉛筆を袋に入れた。あとは戻りかねます。今は、軽く歩くことを思い出したい。

> 「**修正しました。見ていない場合でも。**」

充填を必要としなかったページ

外側に、彼女は自分の単一の曲線の下に日付を書き、ページだけで残りの部分を残しました。後で返されたとき、彼女はCórdobaの正確な画像が見つかりません。全てを運ぶのをやめてしまった瞬間のお部屋が見つかります。

Mea Zen · Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第74話

街が色を干す日

ポルトガル・Mea Zen・Colombine・Lu Cia・II

ポルトでは、友人は自分の色のガイドを見つけます。日除け、バルコニーの洗濯、ボート、夕方の窓。

コロンビーヌは、色で都市全体をナビゲートできると主張しました。メアは、その方法も昼食につながるかどうかを知りたいと思った。ル・チアは赤い日除けに指摘しました。最初は落ち着いていました。あと1通りですが、バルコニーから青い空が出てすぐに計画が変わった。

オリジナルのTravel2Cityの写真に触発されたイラスト。旅程やドキュメンタリーの記録ではありません。キャラクター、対話、プロップ、構成や照明は、芸術的な解釈です。

レッドは、道の右を持っています





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

ポルト

Awningsは、舗装を横切って陰の狭いストリップを敷設し、バルコニーの下にオープンしました。コロンビーヌは最初のストップを赤く宣言しました。メアは、少なくとも5つの赤いものを見ることができることを反対しました。必要なルールは、ル・チアがすでに歩いていた。それらが止まった色は、その道の右だったと彼女は言いました。実用的十分な: 彼らはただ歩く必要があり、最初に話した様子を見るのを待ちます。

> 「**地図は機械で洗濯できる状態になるかもしれません**」

青は日を離れて過ごします





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

ポルト

バルコニーから吊るした青いタオル。何の儀式もなく、誰かの普通の日の一部に過ぎない。ル・チアはそれを残りの部分を取るの旗を宣言しました。コロンビーヌはメアのドレスを見ました: それは明らかに地元の表現を持っていた。メアは認めに彼女の頭を弓しました。その上、シャツはかき混ぜて、簡単にレールを覆いました。窓の間、街は小さな仕事に行き、見栄えが良かったです。

> 「**今日は、休息が飛んでいる**」

水の別のパレット





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

ポルト

河川では、ゲームが上方に見下ろすのを止めました。メアは、ボートに赤い詳細を発見しました。コロンビーヌは、水の上に2倍の震動を発見しました。ル・チアは、川がすぐに変化する緑と灰色のカラーを選びました。投票は決議できませんでした。計画よりも銀行にとどまり、風が吹くと、少し違った街が現れました。少なくとも色ガイドは決して鈍くなかった。

> 「**このカラーサンプルは封筒に合わない**」

黄色が点灯するとき





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

ポルト

色の境界線を柔らかくする。青は川に渡り、黄色が窓に入った。ウォーターフロントで3人の友人が休息することなく、水辺で合意された。水中に浮かび上がる光が増える。彼らのナビゲーションは、さらに指示を必要としません。コロンビーヌが笑顔で満足しました。最終的には、自分が気にしていた限り、ビューの横に落ち着いた地図は、非常にうまく機能していました。

> 「**目的地に達しました。さらに明日の指示**」

滞在する色 ホーム

一日の終わりまでに、彼らは正確なルートを持っていません, 彼らは非常に同意できない色のシーケンスだけ。洗濯物、ボート、窓を保ちながら街を一望できます。普通のタオルでシェアしたアミューズメントを保ち、旅行プランをうまく変えました。

Mea Zen・Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第75話

桃ひとつ、予定はなし

クロアチア・Mea Zen・II

Hvarでは、メアはピーチを購入し、彼女の朝が維持する予定がないことを発見しました。ネザーはピーチをします。

朝はよく馴染みのある動きで始まりました。メアは、時計を着ていない手首を見ました。時間が分かっていなかったことを実感する瞬間を取った。船は港に揺れ、その隣の船は、船の実をアレンジしていた。一日の始まりに十分な計画でした。

オリジナルのTravel2Cityの写真に触発されたイラスト。旅程やドキュメンタリーの記録ではありません。キャラクター、対話、プロップ、構成や照明は、芸術的な解釈です。

答えなしの手首



フヴァル



アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

メアがなぜ知っている前に手首を回しました。光と皮膚のパッチだけを握っています。笑顔に。しばらくの間、まだ朝の報告を望んでいた小さな事務所。石造りの建物の横に、船は別のリズムで揺れる。何もないと、どこからでも受けるのが恥ずかしいようです。メアは彼女の手を下げ、自分自身を許しました, 瞬間のために, 同じアレンジ。

> **「今日のカレンダーが見つからなかった」**

是非、どうぞよろしくお願いします。





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

フヴァル

フルーツは、必要な1つの朝食よりもはるかに多くの色を提供しました。メアはピーチを選びました。最大のものではなく、手のひらに快適に装着したもの。紙袋が錆び、買い物が終わった。リスト無し、後続の備品無し。彼女は自分の手で果実を練り、何かが朝のプログラム全体になる可能性があるという考えに慣れている。

> **「予約なし」と「今すぐ注文」**

ボートスピードでの朝食





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

フヴァル

水中のそばに場所を探し、噛み合った。ピーチは甘く、僅かに実用的だった。紙袋は、ジュースのトリクルをキャッチしました。小さな朝食はこれ以上の注意を必要としませんでした。船は、船がそのロープの端に辿り着き、後ろに漂流した。メアはゆっくりと噛まれました。報告、撮影、またはキャッチが必要なことは何分も何も起こらない。意外と満足していた。

> 「**この速さなら、ちょうどいい**」

朝食後の眺望





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

フヴァル

しばらくして見晴らし台に立つと、箱のふたを開けたように、赤い屋根が眼下に広がった。メアは、折り畳まれた空の紙袋だけを保持しました。ピーチはもう旅しませんが、その甘みは残ります。壁に安全に休んで、朝のところを過ごした街を眺めました。上記から、全ての車線が重要視されています。今日は歩いていなかった。すでに1つの良い休止場所がありました。

> **「達成したのは、未経験者不要」**

自分の朝の時

葉が入った小さな円がノートに入った。時計面ではなく、桃。メアは、彼女は特定の時間のために彼女の朝を予約したことがないので、彼女は何も遅く到着していた間、初めてのためにそれを実現しました。

Mea Zen · Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第76話

いい名前はあとからやってくる

モンテネグロ・Mea Zen・Colombine・Lu Cia・II

Cetinjeで午後に名前をつけようとしている友達。それぞれの提案は、次の角を囲むまで右に見える。

メアは、彼女のノートブックの夕方に準備ができてタイトルを望んでいた。コロンビーヌは、最後より3つ、それぞれが華やかに提供しました。ル・チアは、最初に散歩を仕上げることを提案しました。十分にセンシブル, しかし、質問は既にそれらに参加しました: あなたはまだ起こっている午後の名前を付ける方法は?

オリジナルのTravel2Cityの写真に触発されたイラスト。旅程やドキュメンタリーの記録ではありません。キャラクター、対話、プロップ、構成や照明は、芸術的な解釈です。

タイトル 大型トオ





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

セティネ

最初の石造りの建物のそばに、コロンビーヌは山の心に探検を提案した。メアは平和な道に沿って見えました。初期に供給も約束もなかった。ル・チアは、現在、その計画の心を占領したディナーを指摘しました。昼過ぎには、その名の大きなタイトルが合わない。彼らはそれを残しました, 想像力で, 大きいバックパックを運ぶ人のためのゲートの横に。

> 「**ランチは、そのタイトルに小さすぎます。**」

それぞれ異なる単語を参照してください。





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

セティネ

メアは、葉と光を示唆しました。コロンビーヌは、石の壁を崇拝し、彼女は去るだろうと反対した。ル・チアは、彼らが取られた道を含めることを望んでいた。タイトルは、エントリ自体を追い抜くために脅迫されるまで成長しました。メアは笑いました。多分、彼女は自分の方法で覚えたい各友人の1つの文すべてに絞ってしようとしていました。

> 「**空を追加し、内容の表を持たせます**」

もう一つは言わないで





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

セティネ

外側の壁の横に、コロンビーヌは別の考えを細断しました: 3人の女性および多種のコーヒー。メアは笑顔で、ル・チアは指を唇に引き上げました。これらは、今、それ自身に提案を続けなければならないか、それともすぐに方向を変えてしまうか。フェンスを超えて、石のアーチは、彼らの承認やキャプションを必要としませんでした。コーヒーオーダーでタイトルを貼り合わせた友人が続いた。

> **「次なる章のためにその者を救う」**

昼過ぎはまだ癒やす





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

セティネ

街中は、景色が開けて、すべての提案が突然少しタイトに感じました。屋根、山々、下足の道を、仲間たちを片手に。メアは彼女のバッグに彼女のノートブックを残しました。午後は未完成で、何を呼び出すかを事前に知らなかった。コロンビーヌ は、作業タイトルがあるかどうかを尋ねました。ル・チアはうなずいた。「まだここにいる」 今回は、異物は見つかりません。

> **「まだここにいる。それで十分」**

今すぐ登録

夕方は空白の空間がエントリの上に残っています。それに加えて、メアはCetinjeと日付だけを書きました。コロンビーヌとル・チアは、良い名前が遅く到着したときに良い名前に合意しました。しかし、数日後には、「無題の午後を思い出す」と聞かれ、その3人は、自分が意味したものを正確に知った。

Mea Zen・Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第77話

遠回りして帰ろう

スロバキア・Mea Zen・II

メアは家を知っています。だからこそ、ブラチスラヴァでは、川を渡って向かい側から街を眺めます。

馴染みの街では、足はお聞きせずにアレンジを作れます。彼女が止まったとき、メアは彼女のいつものターンを取った。少し後に家を出せる。通りの上には見慣れた看板が並び、建物の向こうには、来た道を引き返すことのない川が流れていた。今日は小路を借りてから借りる。

オリジナルのTravel2Cityの写真に触発されたイラスト。旅程やドキュメンタリーの記録ではありません。キャラクター、対話、プロップ、構成や照明は、芸術的な解釈です。

ファミリアターンは待つことができます





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

ブラチスラヴァ

いつも見つめて止まったので、首吊り看板がよく知っていた。今日、彼女は1つの下に注ぎ、他の足跡を渡すようにしました。通りは直進し続け、いつも通りが止まった。メアはまっすぐに行きました。壮大な決断はなかった、午後に小さな調整だけで、他のすべての人に似ています。次のコーナーの周りに、彼女のステップはより軽く感じました。

> **「自宅がどこにも行けない」**

青い柵はで導きます





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

ブラチスラヴァ

風は橋の歩道に着きましたが、最初は怖いと答えました。メアは、ブルーレールに軽く触れました。街は、どこにも出ていなかったが、彼女の後ろに移動しました。各ステップは、馴染みのあるタワーや屋根の角度を変えました。長い旅でこの交差を稼ぐ必要はありませんでした。川を渡る普通の散歩で、好奇心のあるお部屋でした。

> 「**外に出ずにクロスオーバーできる**」

水を渡る都市





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

ブラチスラヴァ

他の銀行から、ブラチスラヴァは異なるスケールを持っていました。城、スパイロット、白い船は一つの目で見た。メアは彼らの間で多くのルートを知っていたが、ここからはどれも急いでいた。自分の街と街の間には、水が十分な部屋を残しました。しばらくの間、彼女は訪問者のように見え、それから考えで笑顔に。ここに持ち物と到着の間には選択しないでください。両方とも可能でした。

> 「**こんにちは。今日はここからお会いしています。**」

ベンチで始まるリターン





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

ブラチスラヴァ

軽く柔らかくなると、水辺のベンチが見えてくる。ノートは、ラップに閉じたまま。今回は最後の文を一度に発明する必要はありませんでした。川が続くと、遠くの銀行に小灯が変化し、メアは歩いていた。時間が経つにつれて、短時間で見かけなくなった。ついに、お持ちの午後に、お泊りしてもらいました。

> **「もうちょっと長く。今回はなぜなのか」**

ファミリアから新しい距離

帰り道では、一番短くなっていたターンを選んだことはなくなりました。ノートブックは、他の銀行から見た街を心がけながら、彼女の袋に閉じたまま。新しい国では必要とされなかった話です。川、未聞の時間と、彼女は最終的に気づいた回転が十分だった。

Mea Zen · Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第78話

重力にひと言

オランダ・Mea Zen・Colombine・Lu Cia・II

アムステルダムでは、重力について遊び心のある苦情を準備しています。住宅、自転車、運河のボートは、すべて自分の証拠を持っています。

メアは狭い家屋の列の前に止まり、頭を閉じました。コロンビーヌは彼女を勉強しました。「街を調べたり、地平を調整したりしてもらえますか?ル・チアは、この問題が共同調査に値したと判断しました。

オリジナルのTravel2Cityの写真に触発されたイラスト。旅程やドキュメンタリーの記録ではありません。キャラクター、対話、プロップ、構成や照明は、芸術的な解釈です。

疑わしい縦



アムステルダム



アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

ル・チアは寓話で指摘しました。自分の意見では、以下の会話を聞くために家が近づいてきていた。コロンビーヌは、そのような疑惑を扱うオフィスを知りたいと思った。メアは、重力部を示唆しました。3つの公式表現を即座に採用しました。彼らは2つのステップを追いやりました。

> **「ご要望を伺います。そして見栄えがいい」**

最初の測定値





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

アムステルダム

レールを引く自転車の横に、コロンビーヌはノートブックを直立しました。メアとル・チアは、反対の方向に自分自身を傾けました。結果はすぐに解散します。自転車は引数から離れ、それ自体がサポートされていました。「私達は独立した測定を、」コロンビーヌは発表しました必要とします。メアはすでにボートのアプローチを見ていました。

> 「**結果の移動を止めてください**。」

シートからの証拠





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

アムステルダム

ボートのガラス屋根の下に、より多くのスラントラインが調査に参加しました。窓枠を越えながら、その反射が水に分散してしまうハウス。ル・チアはコンテンツを取り戻しました。「測定機器も関与する可能性がある」自分の目で指摘した。彼女は異議を記録することができた前に、メアは笑いました。

> 「**この角度は、優れた防衛を持っています。**」

これ以上の異議を行わない





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

アムステルダム

だれも何かをまっすぐにしたいと思っていません。メアは彼らの遊び心のある苦情を折りたたんで、彼女のサッチェルにそれを抱き合わせました。コロンビーヌは、家がちょうど長い黄金のリボンになった水で指摘しました。ル・チアはうなずいた。重力にこんな副作用があるのなら、この一件は罰金なしでおしまいにしてもいい。

> **「今日は、街を喜ばせるようにしましょう」**

苦情はサッチェルに滞在

折りたんだシートは、証拠よりも多くの笑いが含まれている。メアは、彼女の旅行チケットの間にそれを滑りました。すべてが再び少し刻まれたように思えば、彼女は一日の発見を手に近づけているだろう:まず、どこか別の場所から探してみてください。

Mea Zen・Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第79話

大切な一日の、ちいさな繕いもの

クロアチア・Mea Zen・II

1つの緩いボタンは小さい修理停止にトロギールを通るメアの歩行を回します。一方、町は彼女の場所を保ちます。

トロギールでは、すべてが長い散歩の準備が整いました。石の光、水面、そしてメアは彼女のお気に入りのドレスで。自分のカフに1つのボタンだけが別の計画を持っているように登場しました。

オリジナルのTravel2Cityの写真に触発されたイラスト。旅程やドキュメンタリーの記録ではありません。キャラクター、対話、プロップ、構成や照明は、芸術的な解釈です。

小さな警告





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

トロギル

まるで水辺の手首にふさわしいもの。最後の糸で掛けられたカフボタンで、すべてのステップでもっと詳しく調べます。メアは彼女の指の間でそれをキャッチ。背後の街は揺るぎもせず、そっくりそのまま。ちょっとした一大事に見舞われたのは、袖が片方だけだった。「全部右」と静かに言った。「お先にどうぞ」

> **「グランドプログラムを一時停止します」**

1つのサッチェルのコンテンツ





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

トロギル

石造りの中庭では、ボタンが手のひらに入った。彼女はチケット、組織、鉛筆、そして最終的に小さな縫製ポーチを生成した彼女のサッチェルから。彼がなぜ忘れていたか、ほとんど忘れていたので、ずっと運んでいた。今、それは予期しない重要な見ました。幸いにも、実用的なものの中で冒険のための部屋もありました。

> 「**この旅に何も入っていなかったから**」

野外ワークショップ





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

トロギル

ログギアの横にあるベンチでは、彼女は膝の上にカフを休ませ、針をねじった。最初のステッチは気をつけていました。次はもっと簡単に来ました。そばに足を踏み入れて、どこか懐かしい料理が並んでいます。一日中は、修理を必要としなかったが、手元に小さな場所だけだった。ボタンがしっかり座ったら、満足した表情をあげました。

> 「**よく折りたたんです。行きたい**」

街が待っていた





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

トロギル

水に戻り、手首を軽く持ち上げました。ボタンは、所属して、袖が再びその仕事をやっていたところに戻りました。水を渡る塔は動かなかった。メアは彼女のスカーフを調整し、持ち運びました。彼女の歩きは一つの追加の停止を得たが、何も前進しなかったので、彼女は急いでいた。

> 「**お待たせありがとうございました。トロギール**」

日は4本のステッチの後で続きます

メアは修理されたカフを数回点検しました。ガイドブックにはあまりイベントがなかったが、その日は完璧に合った。おそらく彼女はタワーを覚えているだろう。または、おそらく、注文が1つの小さな部分が所定の位置に戻ってステッチされたベンチ。

Mea Zen · Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第80話

華やかな登場の練習

ポルトガル・Mea Zen・Colombine・Lu Cia・II

シントラの宮殿は、友人が壮大な入り口を明らかにするのを刺激します。それぞれに、尊厳の異なる考え方があり、長く保つことはできません。

森の間は宮殿色が現れたとき、コロンビーヌは単に歩いていないと決めました。メアは、彼女の快適な靴で一目見えました。ル・チアは、既に歓迎された委員会を組織していた。2人で予算が全くなかった。

オリジナルのTravel2Cityの写真に触発されたイラスト。旅程やドキュメンタリーの記録ではありません。キャラクター、対話、プロップ、構成や照明は、芸術的な解釈です。

歓迎委員会





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

シントラ

コロンビーヌは、午後に予約していたが、宮殿に向かってヤシを開いた。「お客様には、より快適にお過ごしいただくようお願いしております。」ル・チアは彼女の口を覆い、儀式調子を屠殺から保護します。メアはまっすぐにし、壮大さが普通のストライドで来たか、徒歩の特別な方法が必要かどうか尋ねました。

> **「尊厳で、足を傷つけずに」**

最初の試み





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

シントラ

開口部のメアは、通常のステップに小さな繁栄を加えました。バルコニーの挨拶と中庭への指示を要求するどこかに出てきます。コロンビーヌは神妙にうなずいた。ル・チアは、入り口が約束を示したと宣言しました, それはまだむしろ人間を感じながら、. メアはもはや儀式的な顔を保つことができませんでした。

> 「**人体を切ってはいけない**」

主要な役割の変化





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

シントラ

それからコロンビーヌは弓を取った。ル・チアは、全体的に遠征を歓迎するのに十分なジェスチャーで彼女を導入しました。メアは彼女の前任の拍手を通して半分を笑い声を破る。黄色い壁では、その歓迎された委員会が中断することなく働かなかったことは明らかでした。3つすべては、それらを提供することに非常に喜んでいました。

> 「**良い精神のために中断された儀式**」

知らせもなしに





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

シントラ

テラスでは、通常はもう片方を横切っていました。誰にも発表されず、手が王宮の職務を遂行しなければならなかった。メアは文を終わらせ、ル・チアは彼女の笑いに向かって傾いた、そして話に運ばれたコロンビーヌ。これは、彼らが最終的に到着するために管理された方法だった: 全部 3, 躊躇することなく、, 自分の午後。

> 「**こんな感じで聞かせてもらえる**」

ぶっつけ本番でも、登場は上出来

何も素晴らしい儀式に来たことはありません。その代わりに手に入れたのは、笑いと、変わったお辞儀がいくつか、それから宮殿がなくても再現できる思い出だった。メアは、このような歓迎された委員会で、彼女はあまりにもほとんどの普通の場所に到着し、喜んで考えました。

Mea Zen・Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第81話

噴水のそばで五分間

スペイン・Mea Zen・II

メアの時計がグラナダ、噴水、庭、そしてアーケードの下にある光を止めると、簡単に時間管理を引き継ぎます。

メアは噴水の横に5分を費やすことを意図しました。彼女は彼女の時計を見て、水で、それから戻って彼女の腕時計を見ました。自分の計画に合わないという妥協を伴って、その場所が正確に残っている。

オリジナルのTravel2Cityの写真に触発されたイラスト。旅程やドキュメンタリーの記録ではありません。キャラクター、対話、プロップ、構成や照明は、芸術的な解釈です。

決して始まったことのない5分





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

グラナダ

中庭にはたくさんの動きがありました。アーケードの足跡、噴水の水、舗装を渡る影。少しだけ時計は協力を拒否しました。メアは目を近づけました, 一見が手を説得するかもしれないので、. その後、彼女は彼女の腕を下げました。出発時間について何も知らなかった噴水は、見つかりに関心を示しませんでした。

> 「**全ての権利。今日はタイミングをすることができます。**」

信頼性のないクロノメーター





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

グラナダ

小さな壁掛けで、落ち着きを数え始めた。すぐに2つに分割し、もう1つは水の音に消え、測定全体が使えなくなってしまった。メアは耳を傾けるために少し近づいてきた。結果は不正確だったが、心地良い。一度は、その時よりも時間が減っていなかった。

> 「**精度はなく、優れた音**」

庭の時間





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

グラナダ

庭では、測定がより複雑になりました。1つのストレッチは、葉の香り、彼女のスカーフの別の輝きを持続しました。メアはそれらを数分に変えようとしていませんでした。パスを追って音をクリアして、音の仕上げを聞かせてもらいます。腕元は同じ時間を示したが、周りの瞬間は変化し続ける。

> 「**このストレッチは、長い一本くらいです。**」

ダイヤルのない空





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

グラナダ

円形コロネードの下には、空のアークを見上げる。時計が動かなかったのに、壁は違う部分に見えました。メアは彼女の袖口の下にそれを滑りました。噴水で5分を正確に費やしていたかどうかは言うことができませんでした。彼が聞いた場所、聞いたこと、そしてなぜその瞬間が数えなかったのかを知りました。

> 「**この瞬間を時間を忘れずに思い出せよ**」

時計は修理されます

修理が必要な時計。メアはそれと引数を負いませんでした。今日、彼女はしばらくの間、別の方法を発見しました。彼女はその数を必要としないで、水と彼女の袖の光の音によってそれを覚えているだろう。

Mea Zen · Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第82話

探していたのは、そのひと言

ベルギー・Mea Zen・Colombine・Lu Cia・II

Ghentでは、友人は特定の種類の散歩のための単語を探しています。それぞれが異なるものの停止をしますが、誰も一人で残っていない。

「このことを呼びますか?」 メアは尋ねました。コロンビーヌは、正面の広場とル・チアの周りを眺めました。メアは首を横に振った。ところは意味しない。朝は、朝から動き続けてきた道のことを意味しました。

オリジナルのTravel2Cityの写真に触発されたイラスト。旅程やドキュメンタリーの記録ではありません。キャラクター、対話、プロップ、構成や照明は、芸術的な解釈です。

欠落したエントリ





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

ゲント

段落したガブルの前に、コロンビーヌは「散歩」を提案した。メアは、あまりにも一般的にそれを拒否しました。ル・チアは「遠征」を試みたが、何かを征服することを意図したように聞こえる。ノートに空白が残っている空間。3人の訪問者が自分の活動を名前付けできないと、正方形の誰も困ったように見えませんでした。彼らは単にそれをやって運ぶ。

> **「散歩ですが、追加機能付き」**

停止する3つの理由





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

ゲント

橋の上には、それぞれが異なる理由で止まった。メアは水を見ました, コロンビーヌは、ドアウェイに気づいた, そして、ル・チアは、それらに向かって戻って回りました。誰も誰かを引きずり出さなかった。すぐに、同じ詳細をまとめて、次へ移動しました。「ほらね？」 メアは言った。「これこそ。私たちには3つありますが、すべてのステップは投票を必要としません。」

> 「**今の時を過ごしてほしい**」

ビームの下の単語





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

ゲント

ル・チアは、背の高い木材の屋根の下に手を上げました。「フレンド」 コロンビーヌは、新しい風味を試すのに、ゆっくりと繰り返しました。メアは、彼らは本当に目指すのをさまざまになかったことを反対しました。ル・チアは圧迫しました: 気付くつもりでなかったことを少し間さまざまにさまざまにさまざまでさまざまです。今回、メアはノートブックブランクの空間を離れませんでした。

> **「お友だち」と「お友だち」は、目的地の「お友だち」とご同意頂きます。**

最初の実用的使用





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

ゲント

帰った時は、昼食後には親友が続いたか、コロンビーヌさんに尋ねました。ル・チアは、昼食を準備しましたが、ボキャブラリーの練習よりも多くのことを合意しました。メアはノートブックを閉じました。三人の新しい言葉は、もう説明がなくてもちゃんと通じた。橋を渡った時、橋を渡ってみると3つの理由が分かっていました。

> 「**食べ物はまず。そして、その言葉はさらに発展させることができる**」

共有語彙の1つの単語

メアは、その言葉だけをノートに書いた。辞書の説明は添えなかった。場所と3つの名前が十分でした。別の旅では、異なることを発音するかもしれませんが、彼らは一度にそれを認めます。そのうちの1つは止まり、もう2つは彼女を急いでいるのではなく見ようとします。

Mea Zen・Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第83話

とても大事な小包

ザ リビエラ・メア・ゼン（Mea Zen）・II

ニースの小さな箱は、非常に深刻な治療を受けます。メアは、正しい場所に1つの小さな喜びを届けなければなりません。

箱は軽く、クリーム色で、リボンで結ばれました。メアは両手でそれを保持しましたが、簡単に完了します。一部の小包は、体重が示唆するよりも多くの注意に値します。

オリジナルのTravel2Cityの写真に触発されたイラスト。旅程やドキュメンタリーの記録ではありません。キャラクター、対話、プロップ、構成や照明は、芸術的な解釈です。

小包の収集





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

ニース

お菓子の棚の中で、メアは1つの小さなアーモンドタルトを選びました。自分の箱が入ったら、突然重要な注文のように見えます。衝撃の重篤さで調べる。どこにも書かれていないアドレスはありません。彼女はすでに知っていた:ビューのあるどこかで、小包が彼女の未だの注意を払っている可能性がある。

> 「**Fragile. 個人コレクションの厳密に**」

スペシャル・ハンドリング





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

ニース

狭い車線を通した箱体を運ぶ。宝石、文書、または完全に普通のものを保有しているかどうかは、誰も伝えません。メアは謎を守っていました。それぞれの不均等な石で、彼女は遅くし、自分の世話を笑った。この小さなタルトにとって、これほど気の利く旅の道連れはほかにいないだろう。

> **「通じてみると、とても重要なお荷物です」**

風力テスト





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

ニース

海辺で、風が届きました。それは彼女のスカーフの端を持ち上げ、全顔を行列に回るようにしようとしました。メアは箱を着て、小さなステップを戻しました。浜の上色の遠いパッチで、水に明滅したライト。小包はそのまま残っています。その護衛は、単にもう少し笑っていた。

> 「**処理は許されます。小包の容量化は認められません。**」

適切な受取人





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

ニース

湾を見下ろすベンチでは、彼女はリボンを張り切った。中にはタルトがひとつ。あれほど大事に運んだおかげで、形ひとつ崩れていなかった。メアは海岸線を眺め、そして彼女の小さな貨物で見ました。受取人がプレゼントされました。そこで、見ました。トランザクションを完了するために、最初のビットで配達を確認し、かなり数分以内に許可しました。

> 「**受け継がれ。かなりの喜びで**」

人に届ける

空の箱を折り、リボンを内側に叩いた。海はそのまま残っているが、昼過ぎは心地よく定義されたセンターだった。記念日やお祝いは必要ありません。今日、彼女は自分自身に小さなプレゼントを届けました。そして、受取人がそれを受け入れることを喜んでいました。

Mea Zen · Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第84話

誰も勝たなかった一分間

イタリア・Mea Zen・Colombine・Lu Cia・II

ヴェネツィアでは3人の友人がサイレンスコンテストを開催しています。それらは1つの必須条件を見落としました:まっすぐな表面。

四角に重ねられた水からの会話、足踏みおよび呼出し。コロンビーヌは、彼らが瞬間のために何も加えないことを提案しました。「一分間、ひとこともしゃべらないこと」 メアはうなずいた。ル・チアは、開始時にすぐに尋ねる必要があります。

オリジナルのTravel2Cityの写真に触発されたイラスト。旅程やドキュメンタリーの記録ではありません。キャラクター、対話、プロップ、構成や照明は、芸術的な解釈です。

ワンフィナールール





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

ヴェネツィア

コロンビーヌは、彼女が尋ねていたことを実証するために1本の指を上げました。メアは、彼女の唇を決定笑顔に押しました。ル・チアは正方形で指摘し、その後、自分自身で:質問はカウントしましたか? 回答には、スピーチが必要です。そのため、最初のラウンドは、コンテスト自体よりもかなり長い技術的な議論で終了しました。

> 「**スタート説明を終えてからスタートします。**」

延期の備考





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

ヴェネツィア

その後、船上には、新鮮な丸みを宣言した。白橋とル・チアが息を呑むような水は、別々に響き渡る。彼女は止まって、彼女の口を覆いました。メアは彼女の眉毛を上げて、コロンビーヌの肩が揺れ始めたので、その容赦なく。会話の最も大きな部分は、全く単語を含まなかった。

> 「**分が経つとすぐに教えてくれます**」

不利なピジョン





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

ヴェネツィア

予選では、最終試みをしました。コロンビーヌは、彼女は巨大な自己重要度で歩いてハトを気付いたまでうまくやっていた。エルボに刺され、そのリフトされたチンをコピーしました。メアは笑いを破る。ル・チアはオブジェクトをしようとしました:確かにそれはsabotageでした。文を終わらせない。コロンビーヌは、陪審員がその尊厳を失ったと述べた。

> 「**私たちは静かで、あなたの周りではない**」

会話のリターン





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

ヴェネツィア

狭い運河の横に、何も測定しなくなりました。ル・チアはついにボートから彼女の注目を終わらせました:それはオーアルの上にジャンプ水の滴を懸念しました。メアは、結局のところ聞いて喜んでいました。コロンビーヌは、明日、この時期に話していると再戦を示唆しました。そのルールも、次の橋を超えて生き残ることはあまりなかった。

> 「**すべて正しい。今、すべてを教えてください。**」

勝者なし、不満なし

昼過ぎから夜にかけては、ノートブックに記録タイムが入りません。メアは、レコードにいたるまで、記憶にもっと回復可能なベネチアの音を1つだけ書いていました。彼女の二人の友人は、彼らが参加する前に心拍を笑いながら笑いました。

Mea Zen・Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第85話

ポケットの中の入り江

モンテネグロ・Mea Zen・II

メアのサッチェルの小さな鏡が、一瞬に湾全体を抱えるために、異常な代入を受けます。

ボートで、メアは組織のために到達し、代わりに彼女の小さな丸い鏡を見つけました。そこで、その真鍮のケースを眺めて、パストの上の山で見ました。スケールの違いは、何かを試したいと思いきれないほどでした。

オリジナルのTravel2Cityの写真に触発されたイラスト。旅程やドキュメンタリーの記録ではありません。キャラクター、対話、プロップ、構成や照明は、芸術的な解釈です。

不適切な荷物サイズ





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

ペラスト

ボートから、水辺の住宅は箱の中に収まるのに十分小さかったです。山は、そのようなアレンジを拒否しました。メアは彼女の指の間に鏡を回しました。朝は広い景色を撮影した。今、彼女は、彼女が通常彼女の髪を固定するときにだけ気付いた何かにどのくらいのものが合うかもしれないと思った。

> **「山には、私のサッチェルが小さすぎない」**

最初は空だけ





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

ペラスト

石の教会の近くで、鏡を開いた。青のパッチ、それから彼女の袖、そしてすぐに彼女自身の目を示しました。彼女が手首を回し、途中で立ち止まらなかった。この小さな写真は、どのくらいの作業が必要かを混乱させました。彼女の周りでは、全ての風景は一つの指示なしに必ずその場に残っていた。

> 「**自分を追い越してみるつもりです。**」

ヤシの風景





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

ペラスト

小さな山と空に囲まれて、反射してやっと遭遇しました。鏡は湾全体を含まなかったが、その小さな断片は予想外に深く見えた。メアは、今もしばらくの間、彼女の手が檜に覆われた島に向かっているのを見いだしました。どちらのサイズも気に入っています。他の人を交換する必要があり。

> **「少しずつの奥深さをたっぷり持たせます」**

眺めをそっと閉じて





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

ペラスト

山々の光が柔らかくなると、鏡面が止まった。第二に、彼女はその中に夕方の少しを閉じたような感じを持っていた。手を離して、両手を休ませる。今調節する必要はなく。彼女は単に1つのよりほとんど受容不可能な色合いで水変化を見ることができました。

> 「あとはケースに入れずに持っていくね」

内側に収まるもの

鏡は山も水も運ばれません。メアが家で開いたとき、それは彼女の部屋の普通の部分を示すでしょう。しかし、彼はペルスト近くでそれを保持することを覚えているだろう、そして手のひらがなに十分な何かは、そのような広大な眺めを容易に保持していた。

Mea Zen · Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第86話

写真を撮る人はどこ？

スロバキア・Mea Zen・Colombine・Lu Cia・II

誰かがTrnavaの友人の写真から消え続ける。カメラの背後にあるストーリーもあります。

ル・チアは、トルナヴァの樹木々に光を浴びて、メアとコロンビーヌを数歩先に送りました。写真を撮り、画面を確かめると、うれしそうにうなずいた。メアはそれを少し長く勉強しました。「ここまで来たんです。でも3人が来たんです」

オリジナルのTravel2Cityの写真に触発されたイラスト。旅程やドキュメンタリーの記録ではありません。キャラクター、対話、プロップ、構成や照明は、芸術的な解釈です。

最初のペア





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

トルナヴァ

ル・チアが写真を撮ったことを発表するまで、メアとコロンビーヌは自然に一緒に立っていた。彼らはすぐに自分自身の独特の儀式バージョンを採用しました。笑いながらシャッターを押下。作品の撮影。写真家の目に見えない痕跡は、彼らの愛情のある視線の方向でした。

> 「**どこがどこにあるのか**」

スワッピングはすべてを解決しなかった





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

トルナヴァ

彫刻に加えて、コロンビーヌはカメラを取った。ル・チアは今、写真を埋め込まれています, コロンビーヌが完全にちょうど消えながら。画面をチェックしました。「夕方にこのことを続けられる」とメアは観察した。ル・チアは、すべての可能なペアのアルバムを提案しました。公正ですが、その共有のアウトがまだ欠落しています。

> 「**誰もが、一度は決してない**」と。

腕が短い





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

トルナヴァ

メアがカメラを正面に持ち出そうとしました。ル・チアは片側から、コロンビーヌ からもう片側からleaned。背後にある塔は、自分の顔よりも多くの部屋を持っていました。メアの額の一部を含む最初の試み; 2 つは印象的な鋭い袖を特色にしました。第三に、その笑いは無事に手を出しました。腕は技術的な限界を持っていました。

> 「**より長い腕や親切な人が必要です**」

一緒に3つの場所





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

トルナヴァ

写真を撮るために提供した紳士を渡す。突然、賢い解決は必要とされなかった。彼らは一緒に立っていたし、シャッターがクリックしたときに途中で行くべき誰がまだ議論していた。「もうひとつ?」と尋ねた。三人は彼に礼を言い、うなずいた。最初は、お気に入りのままだった。3つもそこにいた。写真の笑顔を整理した前に。

> 「**今、私たちは到着しました**。」

レンズの後ろ

その夕方、メアは、不完全なものを含むすべての写真を保持しました。それぞれ、目に見えない人の名前を付けることができました。最後の写真は、すべての3人の友人が自分の記憶に収まることができるように、数秒間自分の散歩をパワスした見知らぬ人の彼女を思い出させました。

Mea Zen・Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第87話

旅に連れていける小さな家

ポルトガル・Mea Zen・II

オスビドスでは、メアは小さな家を選びます。それを包み込む前に、彼女は去ることについてである町を見るためにそれを取ります。

リトルハウスの中では、メアは、彼女がまだ家で楽しんでいるものを探しました。シンプルな1ウォン:白い壁、赤い屋根、青いドア。自分の町を巡る前に、旅のためにそれを梱包していた彼女に支払われたように、それは彼女に起こった。

オリジナルのTravel2Cityの写真に触発されたイラスト。旅程やドキュメンタリーの記録ではありません。キャラクター、対話、プロップ、構成や照明は、芸術的な解釈です。

隣人を選ぶ





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

オビドス

それぞれの家は屋根と若干の異なる窓を持っていました。実際に家を選ぶと、メアは真剣にそれらを比較しました。1人の青い扉は、少し刻まれて描かれていました。まさに自分が好きなものでした。手のひらに装着し、除去会社を必要としません。支払い後、彼女は包装を延期しました。まずは、散歩に行きましょう。

> **「本棚の見晴らしさを保証」**

成長したアップを訪れる





アーカイブの写真

イラストでたどる旅 · Mea Zen

オビドス

植木鉢の窓の下には、小さな家を持ち上げました。建物は、枝を登り、繊細な影や石膏を敷き詰めた建物で、屋根のように簡単に微小化できませんでした。メアは、彼女の購入に違いを説明する自分自身をキャッチ。答えがなかったので、彼女に適している。万が一のお土産に質問をしても、梱包を終わらない。

> 「**後から登山工場を話し合います**」

戦いの必見





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

オビドス

城下からは、木造の屋根が小さく見える。メアは、そのように、その瞬間のために、石の塔の横に立っていた家をヤシを抱いた。胸壁も衛兵もなく、長い歴史を詰め込む余地もない。それでもなかなか立派だった。「あなたの人生は静かになる」と彼女はそれを保証しました。風は彼女のスカーフを持ち上げ、彼女はより慎重に彼女の指を閉じました。

> 「**棚に要塞を必要としない**」

家の旅行ケース





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

オビドス

町の屋上を上回ると、ついに紙に巻き込まれた。青いドアが消え、白い壁は、それから赤い尾根を取り除きます。家のフェルトのペキュリア;通常、家の中の1つの詰め物。メアは最後の折り目を滑らかにし、彼女のサッチェルのより柔らかい内容の中でそれを解決しました。初めての旅行が始まりました。

> **「帰り道。今はどこに住んでいるのか」**

新規アドレス

自宅では、小さな家は彼女の本に横たわって住んでいます。オビドースのように見えず、メアはそれを尋ねません。旅行者から棚の居住地に変化する前に、一回変わった散歩に彼女を伴った小さなオブジェクトでした。

Mea Zen · Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第88話

案内役には別の予定

ベルギー・Mea Zen・Colombine・Lu Cia・II

ブルージュでは、トリオは珍しいガイドを選択します。運河の上のアヒルは明らかに異なる旅程を持っています。

メアは、すべての3人が他の場所で見たかった場所を正確にマップを折り畳みました。ル・チアは、運河に茶色のアヒルに気付き、簡単な解決策を提案しました。「彼女はローカルにいます。彼女に従うでしょう」 コロンビーヌは、予約が不要で合意しました。

オリジナルのTravel2Cityの写真に触発されたイラスト。旅程やドキュメンタリーの記録ではありません。キャラクター、対話、プロップ、構成や照明は、芸術的な解釈です。

面接なしで即採用





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

ブルージュ

橋の下をゆっくり浸したのは、誰も約束しなかったように見えます。ル・チアは、リーダーに就任しました。メアは地図を折りました。コロンビーヌは、ウォーキングやスイミングに関与するツアーかどうかを尋ねました。彼女の靴は後者のために準備されていない。彼らは単にそれを解決しました:女性は、パスに保つだろう、彼女自身の輸送システムにダック。

> 「**当社の遠征リーダーは、条件を受け入れていません**。」

表面下での解説





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

ブルージュ

木材に面した家の近くで、銀行に向かって歩く鴨。コロンビーヌは、地元の水産植物に関する専門家の解説を発表しました。ル・チアは、その徹底を讃えました。一方、メアは地図にマークされていないウィンドウを賞賛しました。ガイドが完全に気に入ったままでも、止まるのにかなり素敵な場所を選びました。

> **「コロンビーヌはダックから翻訳を提供している」**

未発表の休憩





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

ブルージュ

避難所の角には、ほとんどが動かなくなる。コロンビーヌ は mock の不全の彼女の腕を折りました。ル・チアは、プログラムの次の部分を待って提案しました。メアは、水が羽ばたガイドよりも多くの旅行をしていたことに気づいた。「仕事の日が終わっているのは、」 彼らは静かに笑い、彼女の静かな角を捨て去った。

> **「私たちのガイドは休憩をとっています。私たちはまたできる」**

次の項目





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

ブルージュ

緑の日除けの下のテーブルでは、メアは3カップの横にマップを配置しました。コロンビーヌは、アヒルに感謝の手紙を提案したが、誰も彼女のアドレスを知らなかった。ル・チアは、応答が途中休憩の後に待つ必要があると付け加えました。一方、冷却された茶。しばらくの間、すべての3つは、ヤシとカップハンドルの間に収まる十分な計画の小さじを共有しました。

> 「**今回はこのテーブルに泊まります。**」

未署名の勧告

メアのノートブックに市の名前の横に少しアヒルが現れました。サービスはサービス評価を一切加えませんでした。次のステップを選ぶ前に鳥が一緒に一時停止したのは十分でした。お茶を一杯、ということなら、三人は誰に言われなくても意見が合った。

Mea Zen・Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第89話

書きかけの最後の一行

クロアチア・Mea Zen・II

Stonでは、メアは彼女の一日を録音することを望んでいます。地元の猫は、朝まで最後の行を残すための説得力のある理由を提供しています。

長い壁の下に、メアはノートブックを開いたし、一日を終えるために良い文章を見つけることにしました。3つの始まりは彼女に来ましたが、終わりはありません。紙の上に刻まれた鉛筆。街は、時間も多かった。手が疲れていただけ。

オリジナルのTravel2Cityの写真に触発されたイラスト。旅程やドキュメンタリーの記録ではありません。キャラクター、対話、プロップ、構成や照明は、芸術的な解釈です。

壁が長い限りの文





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

ストン

メアは、丘の斜面をのぼっていく石の線を目でたどった。見ていたすべてのものを含んだ文章は、ほぼ長くなければならない。筆記の前にいくつかの形容詞を解禁しようとしました。助けてはなかった。指の周りの手帳を閉じてみると、。おそらく、その日が最大のランドマークを超えた一通りに立ち向かう。

> 「**すべての壁を1本の線に収まらない**」

ショートツアー





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

ストン

先に石の車線を渡る猫。フォロワーのチェックやサインのように振る舞いは行いません。角をくぐってどこかにいたんです。メアは彼女のノートに鉛筆を叩き、彼女のペースを遅くしました。素敵な景色を眺めながら一日を過ごした後、狭い車線の端で急激に消えていました。

> **「すべて正しい。このコーナーだけ」**

作業完了





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

ストン

角の周りに、猫は大きなプランターの横に落ち着きます。ということは、全体が遠征だった。メアは、少しオフと見栄えをしました。動物は、その足を整理し、その目を半閉鎖し、明らかにその日を説明する義務を感じませんでした。メアが笑顔に。デトゥールは、彼女が1時間延期していた何かにつながりました:もう1つのことを絞ろうとする前に止まる。

> 「**一日を終えたのがわかります**」

朝ごはんの場所





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

ストン

ツリーの下のベンチでは、ノートブックをもう1回開いていました。最後の行はまだ空だったが、もう彼女を悩ませなかった。鉛筆はページの間に置き、カバーを閉じました。しばらくは次の予定も決めず、腰を下ろし、石壁に落ちる光がやわらぐのを眺めていた。バラのとき、彼女は最終的な文が見つかりませんでした。彼女がよく眠るのを知っているだけ。

> 「**朝は、まだその線が残っている**」

続きのための部屋

最後の行は空のままです。その夕方、メアは未完成の仕事をカウントしませんでした。ペンシルは、ドアに立ち寄る彼女のサッチェルの立方体を置き、一枚のネコが残った石の車線は、彼女の心に残っています。今日は十分でした。明日は、ノートが別の日に部屋を持たせます。

Mea Zen · Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第90話

シャボン玉には本気です

イタリア・Mea Zen・Colombine・Lu Cia・II

フィレンツェは、素晴らしい芸術と非常に小さな泡を提供しています。今日は3人の友人が、彼らの未熟な注意を払ってもらいます。

ル・チアは、青のボトルと午後を解決した人の表情で戻りました。メアはコーヒーを期待していた。コロンビーヌは、専門家のトレーニングが含まれているかどうかを尋ねました。ル・チアは黄色のリングを生成しました。最初のレッスンは実用的です。

オリジナルのTravel2Cityの写真に触発されたイラスト。旅程やドキュメンタリーの記録ではありません。キャラクター、対話、プロップ、構成や照明は、芸術的な解釈です。

小規模な購買委員会



フィレンツェ



アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

ル・チアは、この広場では珍しい展示物のように、彼女の手のひらにボトルを展示しました。メアは、リングを検査しました。コロンビーヌは透明な内容を検査しました。幸せのボトルがどれだけ生成されるべきかは、何も指定されていません。自分で測定する必要があります。ボトルを握り、最初は笑い始めることができる唯一の難しさが決定されました。

> 「**必要なすべての資格を保有しています。**」

パーフェクトで最初の試み





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

フィレンツェ

アーチの下には、最初の泡がリングを去るので、ほとんど逃したことを静かに残します。第二は、方向性について独自の考えを持っていました。小さな空気のデリバリーを期待しているのに、メアはヤシを抱いた。ル・チアは慎重に、コロンビーヌはボトルを握り、不必要なアドバイスを提供した。トレーニングをとても楽しんでいました。

> 「**指示をあきらめて。残っている**」

短い寿命の肖像画





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

フィレンツェ

大聖堂のそばに、コロンビーヌは尊厳でポーズすることを決めた。ひよこを少し持ち上げ、肩をリラックスさせ、落ち着きの瞬間を要求しました。シャボン玉がひとつ、鼻先でふわりと立ち止まった。誰も触れない。干渉のために、この機会はあまりにも容認されていなかった。破裂すると、コロンビーヌはもう半分の秒で深刻なままになりました。それから彼女は笑いの中で他の人に加わった。

> **「そういったことは私の正式な表現でした」**

最後の2





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

フィレンツェ

川でボトルを閉めていましたが、水の上には2本の最終泡が残っていました。ル・チアは、彼女の手の静かな動きでそれらを指摘しました。メアは実験を成功として記録することを提案しました。コロンビーヌは、正確な数字を望んでいました。それらは3つの笑顔の顔、1つのぬれたリングをカウントし、別のテストのための必要性無し。夕食の前には、少なくともありません。

> 「**レコードを持ってる。結果は消える**」

包まれない結果

袋に入れられたびん。午後はなかった。夕食の途中で、コロンビーヌはもう1回重篤な表情をしようとしました。そして、二人の友人は気泡を感じていたことを正確に知ったのです。

Mea Zen・Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第91話

本を開くと、そこは庭

ポルトガル・Mea Zen・II

Coimbra では、メア は理解できない単語を本を購入します。その写真は、どこか素敵なところに導きます。

中古テーブルにはたくさんの簡単な書籍ができました。メアは、とにかく小さな青の1つを選びました。柔らかさの角、丈夫なバインディングと、ページを素早く回すために、彼女のレカラントを作ったドローイングがありました。

オリジナルのTravel2Cityの写真に触発されたイラスト。旅程やドキュメンタリーの記録ではありません。キャラクター、対話、プロップ、構成や照明は、芸術的な解釈です。

青の結合



コインブラ



アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

ブックセラーは、訪問者のためのより実用的な選択肢である、彼女の別のボリュームを示しました。メアは彼に感謝しましたが、彼女の指はすでに青い本のページの間にありました。一つは、小さな花の小枝を握った。Slovakで自分の名前を知らなかった。この感じがすっかりする。誰かが葉を見ているのを、単に楽しみながら、。

> 「**この1. 未知の部分を含めて**」

手順間の一時停止





アーカイブの写真

イラストでたどる旅 · Mea Zen

コインブラ

着陸に座って、本を開けた。ステムの図面は、彼女が自分の意図に気付いたことをとても正確でした:彼女は見ずに今日過去の緑を歩く頻度は? 最初の文を悪用してみましたが、2番目の文を危険にさなかった。代わりに、彼女はその最後の葉に細かいラインを従い、しばらくの間そこに滞在しました。

> 「**今日はもっとゆっくり読むことができます。**」

緑に向く





アーカイブの写真

イラストでたどる旅 · Mea Zen

コインブラ

樹木の間に階段を辿ったとき、脇に曲がるのに大きな理由はなかった。箱から本を握り、日陰に踏み入れました。自分の上の葉が動いていたので、誰もその瞬間を見ているように、それらをかなり描きませんでした。イラストレーターにこだわった小さな不公平さが彼女を乱用しました。写真を撮り直すと、もう一度やり直しする。

> 「**対面。あなたの親戚に会いましょう**」

呼吸する部屋のあるページ





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

コインブラ

ベンチでは、彼女は再び本を開いた。絵を描くことは、手のひらにマッチしなかった。そして、メアは組み立てを強めようと努力しませんでした。紙、緑、紙、空を交互に楽しんでいました。少数の人が亡くなりました。植物の名前や正しい答えを求める人はいません。最初の文に戻っていたら、半分だけ理解しなければ彼女を悩ませなかった。

> **「明日の休息を休むことができる」**

読書は屋外を続けます

彼女はそれをマスターしていたので、彼女は本を閉じませんでした。去る時だったので、閉ざした。その夜は部屋で、彼女は同じ図面を開いたと、彼女はそれを横に庭の香りを覚えていることができました。

Mea Zen · Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第92話

どうしても畳めない地図

クロアチア・Mea Zen・Colombine・Lu Cia・II

シベニクの周りを手軽に見つけた3人の仲間たち。地図を折りたたむようにすると、実際の探検が始まります。

地図は、彼らが行きたい場所を正確に持ってきました。感謝とバッグの場所に値しました。コロンビーヌは、彼女の人生で多くのことを折り畳まれた女性の自信を持ってその端を取った。紙は、彼女の経験の不器に登場しました。

オリジナルのTravel2Cityの写真に触発されたイラスト。旅程やドキュメンタリーの記録ではありません。キャラクター、対話、プロップ、構成や照明は、芸術的な解釈です。

あらゆる道路がリードアウト





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

シベニク

アーケードの前に、マップをさらに広げます。メアは海を発見しました, ル・チア広場, そして、紙が曲げることを想定していた場所をコロンビーヌ。それぞれが重要な作品を披露しました。一歩先を踏み返すと、もう一歩先に進むべきだった。階段を上るような階段を上り、街道が多すぎる。

> 「**海を動かさないで、ちょうど見つけたから**」

高度なジオメトリ





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

シベニク

緑の扉で地図が刻印されました。コロンビーヌは、中級のステージでした。メアは、他の人に参加することを拒否したクレアーゼを示し、ル・チアは、より大きなバッグを購入するかどうかを疑問に思っていました。提案は、彼らが認めるよりも多くの感知的だった。紙は内容に見え、すべての手を占領していた。

> 「**とても近いです。確かにそうではありません。**」

ル・チアは料金がかかります





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

シベニク

ル・チアは、石造りの地で地図を平らに閉じました。別の2つは、モックの反復で、新鮮な計画で誰にも借りました。中央を滑らかにし、端を滑らかにしました。憧れの瞬間のために。しかし、一方の角を持ち上げると、湾全体を互いに再オープンさせました。ル・チアはそれをすぐに見つめ、笑いに参加しました。

> 「**少なくとも見開きが続く**」

それはとにかく合います





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

シベニク

屋根を見渡すと、メアは街をかなり折りたたんだと決めました。地図を捨てて、サッチェルにスライドするのは、ここまでです。角は外に残っています。コロンビーヌ は、海上フラグを宣言しました。ル・チアは、バッグがまだ運ばれる可能性があることを確認しました。それはできる。これは、誰も試してみなかった最初の解決策でした。

> 「**まちを少し開いたままにする**」

実用的なソリューション

サッチェルから突き詰められた薄片の角。メアは、歩いているように、時々それを滑らかにしましたが、それを隠そうしようと停止しました。次回は、地図を難しさずに取りました。未完成は、その最高の才能を維持しました。

Mea Zen・Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第93話

手のひらのメロディー

モンテネグロ・Mea Zen・II

手のひらに小さな箱とブドヴァの午後全体。メアは、簡単なチューンが正しいペースと時折一時停止を必要とすることを発見しました。

土産テーブルからバラをつける薄手のノートがいくつかあります。メアはほぼ角を回っていたが、戻ってきました。売り手は木の箱を手のひらに乗せ、ハンドルを指さした。ボタン無し、スクリーン無し。遊ぶために、誰かがそれを少し注意を払わなければなりませんでした。

オリジナルのTravel2Cityの写真に触発されたイラスト。旅程やドキュメンタリーの記録ではありません。キャラクター、対話、プロップ、構成や照明は、芸術的な解釈です。

ボタンの代わりにクランク





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

ブドヴァ

箱は、予想よりも軽くなっていました。メアは2本の指の間に小さなクランクをとり、回りました。チューンが急いでいたので、彼女はほとんど聞きました。売り手は、空気の中でよりゆっくりと動きながら笑顔で演じました。再びやってみた。今回は、笑顔のメモの間にある部屋が初めての試みを逃していた。

> 「あ、私の手は、午後のスピードを誇ります。」

プライベートリハーサル





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

ブドヴァ

ベンチに座って、今度は見物人のいないところでもう一度やってみた。最初に彼女はゆっくりと演奏し、その後、意図的に高速に再生し、したがって、チューンは自分のキーを検索する人が好きだった。メアは笑いました。この小さな機構でも、彼女に決められない。エルボは、より快適に着脱し、ペースが見つかったので、正しい必要はありません。

> 「**いいね。今は急いでいません**。」

海はクランクを必要としません





アーカイブの写真

イラストでたどる旅 · Mea Zen

ブドヴァ

湾の横に、旋回を止めた。最後のノートは、水、風、遠い声のための部屋を残します。メアは、彼女の手の中に箱で壁に安静。今回は何も試しませんでした。森の中に収まり、反対岸の山々に向かって楽々に広がる、静かに耳を傾けました。

> **「すべて正しい。しばらくの間、プレイするターン」**

後でエンコア





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

ブドヴァ

水辺を歩きながら、もう一度だけハンドルを回したくなった。代わりに、彼女は彼女のサッチェルに箱を滑り、彼女の頭の中でチューンを運んだ。バージョンは少し不正確でした。1つのノートはエスケープを保ちました。夕方にもう一度聞いてもらえるのが好きでした。そのまで、足のリズムはかなり十分でした。

> 「**お互いに聞いてみたい**」

自宅で音が違う

メアは、最後のノートの後に箱を置きます。自宅に置く場所はすでに知っていた。台所のテーブルの横に海はないだろうが、多分彼女はすぐに彼女はバドヴァで自分の不快感を再生するために管理していたかで再び笑うだろう。

Mea Zen · Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第94話

「ありがとう」はまだ終わらない

ベルギー・Mea Zen・Colombine・Lu Cia・II

オレンジ色の1つが、アントワープのルートを変化させます。返品は簡単になります。お礼を最後までお持ちいただくと、大変です。

ル・チアは、靴の裏側にあるオレンジ色の点を目撃しました。先には、女性がウィッカーバスケットで歩いていました。四角形の他のすべてが瞬間を待つことができます。オレンジはオーナーがいて、角を囲んで消えていました。

オリジナルのTravel2Cityの写真に触発されたイラスト。旅程やドキュメンタリーの記録ではありません。キャラクター、対話、プロップ、構成や照明は、芸術的な解釈です。

靴の横にある発見





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

アントワープ

ル・チアのそばにオレンジが止まりました。緑のコートで女性を拾い、見かけました。女性は彼女の腕に彼女のバスケットを続け、彼女が運ぶと信じたものの数に完全に満足しました。メアは手を上げましたが、彼女の波は忙しい角に消えました。コロンビーヌ は、すでに短いデリバリーの割り当てに向いていました。

> **「誰かのおやつがエスケープされていると思う」**

オレンジ色のランドマーク





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

アントワープ

横道では、メアはオレンジを運んでいました。コロンビーヌはタレットに向かって指摘しました。ル・チアは、少し遠くに動く緑色のコートを発見しました。今度は相談するまでもなく、意見がまとまった。メアは、パッサーバイがそれを見ているので、目隠しに果物を表示しました。しばらくの間、彼女は彼らが非常に小さい、丸い観光客を護衛するガイドに似ていると思った。

> 「**迷子は得られません。今は3つのガイドがあります。**」

人に届ける





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

アントワープ

城門近くの女性に巻き込まれた。ル・チアは、オレンジを手渡し、途中に戻って指摘しました。サプライズは最初から来て、笑いとバスケットに目立つ。感謝の気持ちは控えめに始まり、そして非常に決定されたジェスチャーに育ちました。女性がトランザクションをクリアしたのは終了しませんでした。三人は、最後の議題をまだ知らされていない代表団のように、きちんと並んで待った。

> **「次なるラウンドで資格を持たせているのは、と思う」**

感謝の三枚





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

アントワープ

ベンチに座っていて、それぞれがオレンジ色のオレンジを抱いた。女性は、一度も波がかかっていた。コロンビーヌは、返された果実が3つの贈り物になったかを計算しようとしましたが、メアはそれを簿記に変えないように彼女に尋ねました。ル・チアは皮を臭いに彼女を持ち上げました。数字を使わずに、この結果はもっと楽に感じました。

> 「**今日は、感謝の匂いがいい**」

柑橘類に香る遠征

女性が群衆に消えた後、彼らは少し長くベンチに滞在しました。メアは、交換の正確なシーケンスを記録することを提案しました。コロンビーヌは研究材料として彼女のオレンジを提供しました。ル・チアは彼女の皮をむくために好まれています。

Mea Zen・Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第95話

小石は海辺に残った

コート・ダジュール・Mea Zen・II

アンティーブでは、メアは彼女の袋に容易に合う小石を見つけます。彼が所属する場所かどうかを判断した午後に過ごします。

それは滑らかで、淡いそして完全に普通でした。メアがそれを気付いたのはまさにその理由でした。海の横にあるすべてのきらめきのものの中で、それは全く表示されません。しばらく待ってから、突然お土産を念頭に置いていたんですが、彼女は誰も欲しかったです。

オリジナルのTravel2Cityの写真に触発されたイラスト。旅程やドキュメンタリーの記録ではありません。キャラクター、対話、プロップ、構成や照明は、芸術的な解釈です。

完全に普通の発見



アンティーブ



アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

プロムナードでは、彼女は彼女の指の間でそれを回しました。片側がほぼ白かった。もう一本はグレーラインがかった。メアは、自宅の鍵の横に置くことを想像しました。あとは、ほこりながら、棚に動かして、もうどこかどこかで移動します。そんな小さな小石のために、未来は意外に忙しかったです。

> 「今日の計画をしたくなかったの?」

お部屋がある





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

アンティーブ

浜の端で彼女は座って、彼女の手のひらに小石を置く。バッグに部屋があったので、それを取ることに対して実用的な引数がなかった。しかし、水に目を向けると、そのことを考えてみるのをやめました。自分の手元に、ハリのない質問のように休む。荷物を預ける必要はなかったかもしれませんが、気持ちの良い一時停止は必要でした。

> 「**部屋はあります。必要なだけではありません。**」

小さなリターン





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

アンティーブ

一方、彼女は乾燥した地面にいくつかの同様の小石を発見し、それらの中で彼女を置く。万が一の運賃はなかった。彼女はスカートをまっすぐにし、彼女がそれを認めることができるかどうかを見るためにもう一度見ました。彼女はできる。灰色の線は、まだそこにありました。今までにない事で、すぐに馴染みになれるようなものを笑顔で笑顔に。

> 「**いいよ。じゃあ、どこに行けば会えるかわかった**」

土産品リストなし





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

アンティーブ

屋根の上には、海が広がります。メアは、空の手と彼女が到着した同じ袋で上り坂を歩いていた。大きく変化するような感じはなかった。彼女は単に傷からラップする余計な何も持っていませんでした。彼女は休憩し、家の中の青色を振り返り、その後夕食に向かって進んだ。

> 「**今日は午後だけを連れて行く**」

より軽い袋

その夕方、解凍しながら、彼女は小石の考えをした。そこまではなかった。どこから来たのか、説明する場所を見つけるのも必要でした。彼女は、その滑らかな表面と、彼女が残っていた水辺のスポットを思い出しました。そして、それは夕方に十分でした。

Mea Zen · Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第96話

なんでもない一日の博物館

スペイン・Mea Zen・Colombine・Lu Cia・II

セビリアでは、壁のない博物館、チケットなし、取締役なしを開きます。最後の条件は議論の余地に残っています。

ル・チアは、そのような儀式で広場に立ち寄りました メアは機会を探始めました。「開いている」と彼女は発表しました。ドアの周りを一目見たコロンビーヌ。何も必要なかった:新しい博物館は、彼らが今日ほとんど歩いていたものを表示します。初めての訪問者、ガイド、出席者でした。

オリジナルのTravel2Cityの写真に触発されたイラスト。旅程やドキュメンタリーの記録ではありません。キャラクター、対話、プロップ、構成や照明は、芸術的な解釈です。

グランドオープン





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

セビリア

ル・チアは、ジェスチャーをスワイプして空スペースを導入しました。メアは、チケットを購入する場所を尋ねました。少しの注意が十分でした。コロンビーヌは話が許されるかどうかを知りたかった。誰もルールを書いていなかったので、急いでいる以外はすべて許可しました。四角が違う場所になっていなかった。そこで、どこかのところに、その扱いをやめてしまう。

> **「1分間の注意」**

靴の下に展示





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

セビリア

コロンビーヌは、かわいそうなテーブルのそばにひざまずいた。数人の人がそれを交差させ、数を発明することを拒否したのは知らなかった。その端に生き残った青色を好みました。ル・チアは、非常に忙しい長方形のタイトルを提案しました。メアは、今日のタイルが芸術として働いていた資格で、受け入れられました。舗装から取り除く必要は誰もいません。

> 「**展示に心からお散歩ください**。」

一時的なコレクション





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

セビリア

森の横に、メアはガイドとして引き継ぎました。展覧会は、葉の間を絶えずシフトする陰影でした。コロンビーヌ はそれを十分に速く記述できないことを反対しました。ル・チアは、単に探していると提案しました。しばらく試してみました。葉は、メアの手のひらをつなぎ、光を浴びた。ガイドはコレクションの半分を失いましたが、全く気にしなかった。

> 「**融資は利用できません**。」

休憩部





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

セビリア

川辺のベンチを最終ギャラリーに宣言しました。座ってみると、この展示が最も高く評価されていることがわかりました。コロンビーヌは、訪問者の本を始めることを望んでいました。ル・チアは、ひとつのエントリーを提案しました。ここにいたので、とても嬉しかったです。メアは戻ってき。一度は、日付だけでなく、何かを追加する必要はありません。川は何も言わずに流れていった。

> 「**このギャラリーは、素晴らしい席を持っています。**」

コレクションは外にとどまります

残った時にロックするのは何もなかった。タイルは舗装にとどまり、木の下にある陰、川の横にあるベンチ。コロンビーヌは別の訪問を提案しました。ル・チアは合意しましたが、明日の展覧会は若干異なります。メアは、ほぼ同じ会社に希望しました。

Mea Zen・Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第97話

のんびりした朝のレシート

ポルトガル・Mea Zen・II

Évoraの小さなレシートには2つの側面があります。コーヒーを1つ記録し、もう1つは朝を徐々に獲得する。

メアは通常、あまり考えずにレシピを置き去りにします。コーヒーを終わってから、指の裏に残っている。壮大な計画と、忘れたくない何かのために十分な大きさですぎました。ブランクの側へ向かう。

オリジナルのTravel2Cityの写真に触発されたイラスト。旅程やドキュメンタリーの記録ではありません。キャラクター、対話、プロップ、構成や照明は、芸術的な解釈です。

コーヒーの向こう側





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

エヴォラ

カップ、スプーン、テーブルに小さなスリップが残っています。メアは領収書を読んで、通りを見ました。カップが受け皿に触れた音も、隣の席の笑い声も、その合計額には入っていなかった。申し立てがなかった。ひとつのコーヒーで経験を積むのは残念な感じでした。

> 「**まだすべての人のために考慮されていない**」

3つの小さなエントリ





アーカイブの写真

イラストでたどる旅 · Mea Zen

エヴォラ

白の壁の横に、彼女は彼女のノートのスリップを支持しました。彼女は書いた:暖かいカップ、スプーンの音、ドアによって黄色。達成すべきことのリストはなかった。何もチェックを外す必要はありません。見てみると、最後のエントリが彼女の前で右だったことに気付いた。筆頭に筆記を止め、指の間に鉛筆を休ませる。

> 「**ここに、私に何も求めないリストがある**」

エントリーのない場所





アーカイブの写真

イラストでたどる旅 · Mea Zen

エヴォラ

列によって、彼女は別の行を検討しました。スリップがほぼ満たし、残りの空間ではビューが収まりません。小さいものを書ける。代わりに、彼女は目を上げました。一方、石は場所が薄く、他の場所では暗く、柱の間を空に渡しました。メアは笑顔に:アイテム番号が必要なすべての楽しい瞬間ではありません。

> 「**これは合計を出さないでおこう**」

朝のいい朝の証拠





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

エヴォラ

アーチの下に、彼女はページの間に領収書をスリップしました。ノートブックは簡単に閉まりました。朝のお部屋でした。メアは、他のエントリを狩猟せずに車線に沿って続行しました。スリップが失われた場合、何も戻りや説明を必要としません。今は、香りをたどらなくてもこのコーヒーをまた見つけられる、それがうれしかった。

> 「**お好きな朝のファイル**」

有料・保税

その夕方、彼女はページの間にスリップを発見し、再び朝を思い出しました。コーヒーは飲酒していきました。3つの短いノートはまだ自分の仕事をした。カウンターで買えないものを記録しました。

Mea Zen · Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第98話

椅子をもう一脚

イタリア・Mea Zen・Colombine・Lu Cia・II

ローマでは、素晴らしい景色を満喫できます。3人の友人が3つの普通の椅子を追加したいと思いませんか。

コロッセウムは、まだ彼らに見せてもらいました。ル・チアは、足が足が十分に見ていたことを控えめに発表しました。メアは異議を提起しませんでした。コロンビーヌは、古代の石に専念していた自信を持ったコーヒーの方向に位置しています。座る場所だけ必要です。

オリジナルのTravel2Cityの写真に触発されたイラスト。旅程やドキュメンタリーの記録ではありません。キャラクター、対話、プロップ、構成や照明は、芸術的な解釈です。

疲れた足の委員会



ローマ



アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

ル・チアは彼女のヒップで彼女の手を止めました。記念碑に対しては、単なる休憩の提案ではありませんでした。コロンビーヌは、コーヒーが存在しなければならないと信じた方向に指摘した。証拠があったかどうか尋ねたメア。3組の足と、座っての共有の決意があった。今回の調査では、十分なスタートが見えた。

> **「お座りの事を認める」**

表は2枚半





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

ローマ

パンテオンの近くに、空いているテーブルがひとつあった。そこで2つの椅子でした。コロンビーヌ は何かを逃していた場合、再びカウントしましたが、結果は同じままでした。ル・チアは5分先で立ち寄る。メアは、そのような不均等な始まりを彼らの安静に拒絶しました。彼らは周りを見ました, 欠けている家具は、別の都市への旅を必要としないだろう。

> 「**コーヒーを3つ、小さな技術的な問題**」

自分のスタイルを持つ椅子





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

ローマ

次の表の女性の女性は、その算術に気付きました。彼女は隣の空いた木の椅子を指し、うなずいた。コロンビーヌは彼女に感謝し、それを引き渡しました。全く緑色の金属の椅子にマッチせず、誰も気づいたことがありません。コーヒーが到着したら、3枚は座席をつけました。ル・チアは、今日のアレンジが特徴的なデザインを持っていたことを宣言しました。

> 「**これは借りている。それがより良くなる**」

次の大きな発見





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

ローマ

噴水では、より軽く歩いていました。コロンビーヌが、ローマの特別な名所リストを提案した。空いたテーブル、三脚目の椅子、それから気前のいいお隣さん。メアはコーヒーを追加したいと思った。ル・チアは、そのようなリストが試験のための準備が悪いことを指摘しました。一日の話を伝えるのに十分だった。再び水に耳を傾けて、水に耳を傾けます。

> **「次回も家具を鑑賞する」**

銘板には残らない小さな手助け

去る前に、椅子を返し、より一層の近傍に感謝した。夜は噴水やコラム、女性の笑顔を次のテーブルに映し出すことができます。笑顔は、自分の会話にその道を見つけるための最初の詳細でした。

Mea Zen・Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第99話

風がやんでも、お茶はまだ

オランダ・Mea Zen・II

Zandvoortでは、風は彼女のスカーフを回し、蒸気を運ぶ。メアはまだ彼女が連れて行ったお茶の場所を見つけます。

その朝、彼女は彼女のバッグにフラスコを置くことを躊躇していた。今、海辺の面では、決定は非常に感知的だったようです。風は静かに話していなかった。メアは彼女の顔から髪を磨き、天候を議論する前にいくつかのお茶を注ぐことにしました。

オリジナルのTravel2Cityの写真に触発されたイラスト。旅程やドキュメンタリーの記録ではありません。キャラクター、対話、プロップ、構成や照明は、芸術的な解釈です。

特定の小さな予約





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

ザントフォールト

砂浜への道では、蓋を検査した。水筒は濡れてもいないし、ふたもしっかり閉まっていた。スカーフのほうは、今日は自分で行き先を決めたらしい。メアは彼女の肘でそれをキャッチし、笑い。青灰色の海が広がり、徹底的に説得力があります。お茶がほとんどなかった。彼女はむしろ、力のバランスが好きでした。

> 「お茶を飲みながら、鳥居の休息を過ごすことができる」

短い訪問でスチーム





アーカイブの写真

イラストでたどる旅 · Mea Zen

ザントフォールト

お茶を少しカップに入れたビーチの上に。風が解体する前に、蒸気が一瞬出現しました。メアは彼女の手でカップを避難しました。香りは、朝と静かな部屋を振り返り、フラスコを満喫しました。この小さな部分を持ってきたのは嬉しいです。船外は海に所属する可能性があります。

> 「**自分だけの息をのむ**」

自分の手でシェルター





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

ザントフォールト

草の横には、落ち着きのある場所に座っていました。カップの周りの手も巻き込まれ、髪のストランド間の最初のシップを追いかなければならなかった。朝よりお茶が熱くなっていた。今、彼女にふさわしい。草に耳を傾け、水と異なる音を鳴らし、最終的には彼女のスカーフを調整を停止しました。旅行がまだ望まれる場合、不完全に整理されたままになる可能性があります。

> 「**交渉せずに飲むことができる**」

何かが残っている





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

ザントフォールト

開いたビューに戻ると、再びフラスコが閉じられました。風は変わらず、逃げるのをやめてしまった。星座付近の明るいパッチを見て、少し長く滞在しました。あとは小さじ1杯のお茶が残っていました。一度は、すべてが快適に仕上げる必要はありません。

> 「**帰り道は少し保存します。**」

散歩の暖かさ

靴にほとんど空のフラスコと小さな砂を着ていました。写真では、お茶はイベントのように見えていないかもしれません。記憶の中で、それはまさにそこにとどまりました:塩の空気と彼女の指に戻って最初の暖かさの間で。

Mea Zen · Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第100話

隠し味は、ひとつの質問

ベルギー・Mea Zen・Colombine・Lu Cia・II

ルーベンのケーキは3つの専門家の理論を刺激します。答えは、最終的には簡単な質問だけを要求します。

メアは、最初のビットの香りを思い出しました。コロンビーヌは、彼女はそれを認めたと主張し、ル・チアは2番目のビットを与えられた。これは、まだ引数ではなく、ただ有望な始まりでした。コーヒーを終わらせると、ケーキが含まれている3つの異なるアイデアが生まれました。

オリジナルのTravel2Cityの写真に触発されたイラスト。旅程やドキュメンタリーの記録ではありません。キャラクター、対話、プロップ、構成や照明は、芸術的な解釈です。

専門家の試飲





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

ルーヴェン

ケーキは控えめに見えますが、最初の噛みはしばらくの間、それらのすべての3を停止しました。メアはシナモンを示唆しました。コロンビーヌは、飲み込まれてオレンジを添加するまで待っていた。ル・チアは、最も重要な成分がおそらく別の部分だったことを提案しました。その理論は、テストするのが最も簡単でした。弟子たちは、科学的に味付けることに決めたものを分かち合いました。しかし、懲戒処分は終わらなかったのです。

> 「**正しい結論は、もう1つ必要です。**」

3つの非常に特定の可能性





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

ルーヴェン

細い通り沿いに、味と香りの差を説明したコロンビーヌ。メアは、彼女はまた、ナッツを前に述べたことを彼女に思い出しました。つまり、作業理論は明らかだった。ル・チアは、ベーカリーを開くために十分な情報を持っていたかどうか尋ねました。小麦粉もオーブンもなかったが、議論は美しく進行していた。新たな可能性は、しばらくの間、説得力を鳴らしました。

> **「間違いはありませんでした。試用レシピでした」**

分量を書かない覚え書き





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

ルーヴェン

庭で、メアは彼女のノートブックを開いた。紙のアイデアはレシピに似始めました, 成分のどれも量を持っていたことを除いて、. コロンビーヌは、味に書き込むことを提案しました。ル・チアは指を上げました。同じ街に喫茶店もあったし、実際にケーキを焼きました。意外に長い散歩が必要だったらしい。

> 「**いっそ、聞いてみたら？**」

カフェでのお答え





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen・Colombine・Lu Cia

ルーヴェン

彼らは戻ってきて、カフェの女性に彼らの秘密を説明した。笑顔で、カードをつけ、短編レシピを披露。彼らは、他の人を想像し、休息と見なさなかったいくつかのことを推測しました。メアは、その大きさに比例して感謝の小さな紙を受け入れられました。コロンビーヌは、最も長く欠けていた成分が普通の質問だったことを認めた。

> 「**あります。レシピは、質問への勇気も必要です**」

小さな追加でレシピ

ノートにカードを入れる。その理論の横に、メアは単純なリマインダーを追加しました: 最初に尋ねてください。コロンビーヌは、以前のメモが未踏のままであるように要求しました。不正確なレシピでさえ、非常に良い午後を産むために管理されていました。

Mea Zen・Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第101話

探していたのは、この階

ポルトガル・Mea Zen・II

Tomarでは、メアは簡単に間違ったフロアを選択します。帰りに彼女は、彼女が正しく回すことで見逃しているビューを見つけます。

メアは、すでにこの廊下を歩いていたことを確信していました。アーチは確認も拒否もできません。彼らは、現在彼女の記憶の言うことができない、非常に秩序に見えました。別の自信を持たせる代わりに、彼女はしばらくの間止まった。

オリジナルのTravel2Cityの写真に触発されたイラスト。旅程やドキュメンタリーの記録ではありません。キャラクター、対話、プロップ、構成や照明は、芸術的な解釈です。

非常に説得力のある廊下





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

トマール

長い廊下は、メアがほとんどそれを疑うために恥ずかしい感じがしたほど右に見えました。一方の端にライトが待っていた、もう一方のアーチ。馴染みのある方向を選び、覚えていない詳細に気付いた。計画を立てて、計画を立てることができました。代わりに、彼女は階段を探していた自分自身に許可しました。

> 「**見てみると、もうどこか違うかも。**」

1つの回転より低い





アーカイブの写真

イラストでたどる旅 · Mea Zen

トマール

ゆっくりとカーブした階段で、メアも時間がかかりました。一方の手は石の壁に続いていた。彼女のノートは、彼女の袋で安全だった。上記から入力された光は、各ターンごとに分かれます。彼女がこの方法に来た理由を考えるのを忘れてしまった瞬間のために。一度に数歩しか明らかにした普通の降下に従うのは気持ちが良かったです。

> 「**すべて右。今は次のステップだけ必要です**」

別の側面から馴染みのある場所





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

トマール

中庭に足を踏み入れると、すぐに認める。以前、彼女は他の方法に直面して、異なるアーチの下に立っていた。我慢して待たれた場所を挨拶するのに、手をあげました。それは大きな損失と英雄的なリターンでした。彼女は階段を気づいたし、彼女がどこにいたかを正確に知っていたことを彼女をふり立ち止まったとき、ちょうど短い迂回。

> 「**あ、ここまで来たんだ**」

修正のない車線





アーカイブの写真

イラストでたどる旅・Mea Zen

トマール

住宅間の車線では、彼女のルートを修正する必要がなくなりました。彼女の手帳は腕の下を休んで、午後のペースを続けましょう。最初に正しく回るたびに選択すると、いくつかのビューは非表示になります。故意に失った理由は、そうは考えなかった。1つの余分な廊下の上に自分自身と交差しない正当な理由だけ。

> 「**今日は、ここがちゃんとやって来ました。少し長いルートで。**」

間違ったターンのための部屋

その夕方、彼女は彼女のノートブックで正確なルートを描画しなかった。階段、アーチ間の光、そして彼女が自分の間違いで小さな笑顔で自分自身を認識した瞬間を思い出しました。一日に戻って彼女の方法を見つけるのは十分でした。

Mea Zen · Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第102話

海はポーズをとらない

モナコ・共有ノートブック

スケッチブック、三つの意見、そして1つの移動の地平線

コロンビーヌは、まだ滞在する予定を望んでいた。モナコでは、控えめなリクエストのように聞こえました。庭は彫刻を持っていて、中庭は秩序に形をしていたし、港は公園に現れたボートがいっぱいだった。

ル・チアは、候補者を判断するために提供しました。鉛筆の守護者を選ばせました。どの権限も負うポジションもあったが、朝はほぼ1分くらい真剣に受け止めた。

メア・ゼン、Colombine MichelangeLove、ル・チアとのイラストをイメージしたオリジナル・トラベル2市写真。これらの冒険、思考、対話、天候は、自動伝記イベントではなく、新しく想像されています。

スケッチブック、三つの意見、そして1つの移動の地平線

モナコ・庭の候補



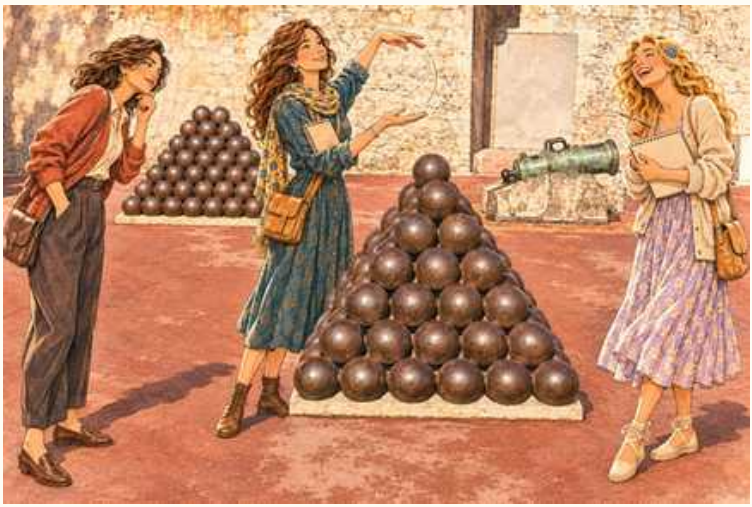


アーカイブの写真

コロンビーヌは青銅色の彫刻を最初に選びました。残った場所のレコードは抜群でした。ル・チアは目を閉じて、暖かさを満喫し、石膏を渡る陰のクリープのパッチを見ました。「被写体は協力しています」とコロンビーヌさんに話しました。「照明は他のアレンジです。」 長い曲線をとにかく描きました。裏には、小さなシャドウのコレクションを一堂に収めまし

た。

モナコ・マナーをよくする





アーカイブの写真

庭園では、暗いカノンボールは嫌な規律で整理されました。空気中の円をトレースしました。ル・チアは、助けとしてカウントされているかどうか尋ねました。コロンビーヌは3つの端を描き、それからそれを折りたむように試みたように彼女のページの角をつかみました。ピラミッドに何も動かさない。ノートブックは、明らかに行動を促すためにボランティアをしていました。

モナコ・マストは心を変えました





アーカイブの写真

ハーバーでは、水の上から完全に直進し、その下で素晴らしかったマストを発見しました。コロンビーヌは彼女の鉛筆で反射を追った。端に辿り着く前に、新しい形に曲げるリップル。次の1つを指摘しました。ル・チアは笑いました。「Perhapsはそれらを導入を停止します。彼女はまだ最初に描画しています。」 数多く発明する水に十分な滞在しました。

モナコ・私たちが一人で残すことができるライン





アーカイブの写真

門限の灯籠を越えて、海が静かに1本用意しました。コロンビーヌはそれを見ました、そしてスケッチブックを閉めました。正しい被写体が見つからなかったら、遅すぎると尋ねました。「いいえ」と彼女は言いました。「宿題を与えないで、これを見てみたい」 ル・チアは石の上に腕を休ませました。フラグが移動し、葉が移動し、誰も修正をしようとした。

テーブルに戻り、コロンビーヌはスケッチブックを開いた。カーブ、円の列、マストが2つになった。ル・チアは、ページを横に回しました。「朝は、非常に説得力のある」と彼女は言いました。どの方法が属しているか尋ねました。コーヒーを注文する前に4つすべてを試してみました。

> **「図面を完成させなかった。徹底的に見てもらいました」**

メアのノート・海はポーズをとらない

Travel2Cityでこの物語を読む

第103話

旅のお供に、葉っぱ一枚

モナコ・Mea Zen

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

赤いステップ





アーカイブの写真
Mea Zen

赤い段に、風によって端にピン留めされた葉が敷きます。メアはそれを拾い、手を自由に保つために彼女のポケットにそれを滑らせました。あと2段で、再び持ち続けた。静脈が分岐した場所を見たい。

ツリーの下





アーカイブの写真

Mea Zen

大きい木の下、彼女は同じ形の葉を発見しました。ヘルスは、角を打ち立てて小さかった。コロンビーヌとル・チアに、捕まえたばかりで、キャノピーに見かけました。ここまでは、ブランチを知ったとしても、決して拾い出せなかった。

レールリング





アーカイブの写真
Mea Zen

鳥は柵に座っています。コロンビーヌはそれを指摘しました。羽根を広げるのを待ち受けた3つ。逃げると、指で割れた葉が飛んでくる。それから彼女は彼女がそれを握っているのに気付いた。2ページの間に滑り込みました。

ブックマーク





アーカイブの写真
Mea Zen

夕暮れ時にも、ステムが立ち去るノートを開いた。ページにあったのは、昨日の買い物リストだけだった。パンとチーズのそばに、今日の日付を書いています。たくさんのお部屋がありました。

Mea Zen Free・Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第104話

水に濡れなかった潜水艦

モナコ・メア・ゼン、コロンビーヌ、ル・チア

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

黄色い機械





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

ル・チアは黄色の展示を中止しました。コロンビーヌはサブマリンのログを保持するために提供しました。メアは、三人がぎくしゃくせずにかばんを下ろすだけで、いったいどれくらいの場所が要るのか考えてみた。

崖の上に





アーカイブの写真

Mea Zen · Colombine · Lu Cia

博物館の壁の下に岩が水にまっすぐに落ちる。コロンビーヌは、最初のログエントリを考案しました。階段を探るクルー。ル・チアは、ロックのエッジを見るのに十分なだけを傾け、そして完全に良いパスを指摘しました。

トレース





アーカイブの写真

Mea Zen · Colombine · Lu Cia

外観から、水を渡る細い線が見えました。メアは、識別されていない船舶の目覚めとしてそれをロギングすることを示唆しました。第二線が現れたとき、ル・チアは小舟に点在しました。「未知のオブジェクトはモーターとキャプテンを持っています。」

レポート





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

ヘリコプターはオーバーヘッドを鳴らしました。コロンビーヌはノートブックをシャットし、救助隊が到着したことを宣言しました。メアは笑った: 遠征は決して足跡を残しませんでした。ル・チアはカフェを探し、コマンドを取った。

Mea Zen Free・Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第105話

写真を撮らずに

モナコ・Mea Zen

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

エントランス





アーカイブの写真

Mea Zen

大聖堂のメアの外には、入り口を撮影しようとする彼女の携帯電話を取った。指はボタンを止めました。すでに2枚のファサードを撮影し、1枚の写真を撮っていなかった。電話を離れ、中を出て行く。

目が慣れてくると





アーカイブの写真
Mea Zen

最初は、小松の光と暗い行の狭いパッチだけを作ることができました。アーチが影から浮かび上がるまで、彼女はまだ立っていた。ゆっくりとお越し下さい。呼吸よりも長く彼女のビューをブロックした人はいません。

金の細部

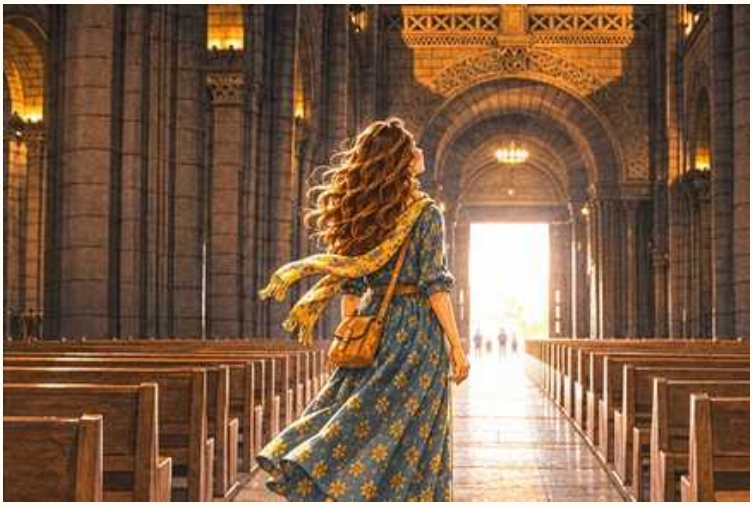




アーカイブの写真
Mea Zen

彼女が彼女の頭を持ち上げたとき、彼女はドアから逃した金の装飾に気付いた。目で輪郭をトレースしようとしました。3番目の曲線では、彼女は彼女の場所を失い、反対側から再び開始しました。

明るいドアウェイ





アーカイブの写真
Mea Zen

途中、正面の白い光しか見えない。通りに、彼女は最初に何も見ていないと、あまりにも多く見ていたことを書いた。「too much」に躊躇し、あとは少しプラスのサインを追加。

Mea Zen Free・Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第106話

もう一歩だけ

モナコ・メア・ゼン、コロンビーヌ、ル・チア

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

四角に





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

宮殿の広場では、その日の散歩のために最初に到着した人達が亡くなりました。コロンビーヌ は最初のメッセージを送りました。ル・チアが最初にドアに入ったと、最初にコーヒーを飲むのがメアでした。それぞれが勝利を続けた。

送信ボックスで





アーカイブの写真

Mea Zen · Colombine · Lu Cia

四角に渡って、送った様子を眺めました。人がゆっくり空間を埋めるが、その姿勢は変わらず。ル・チアは、ランプを過ぎた人もいるまで、彼らは少なくとも静かに保つことができることを示唆しました。

3組の靴





アーカイブの写真

Mea Zen · Colombine · Lu Cia

過去にガードのグループが歩くと、足跡のほぼ1つの音がありました。友達がペースでマッチしたんですが、すぐにメアが一歩足を踏み入れました。「私の stride はより短い」と彼女は言いました。コロンビーヌは足を見つめ、何も言わなかった。

港の上





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

港の上では、各々が異なる場所に停車します。ル・チアは、その景色を選んだ、コロンビーヌの色合い、そしてメアは、彼女がまだそれらを見ることができる場所を選んだ。柵で会った瞬間。去ったとき、メアは他の足で故意に始まりました。

Mea Zen Free・Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第107話

競争のない絵はがき

モナコ・Mea Zen

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

牧草地





アーカイブの写真

Mea Zen

芝生の上には、明るく塗られた牛が描かれています。メアは遠くから彫刻だったことを知った。近くで近づいてきたときだけ、その足を塗った人達が丁寧に気付いたんです。朝から運ばれたブランクのポストカードを取り出しました。書かたっても、まだ考えなかった。

芝生の車





アーカイブの写真
Mea Zen

レースカーは、少し遠くに立っていました。一見すると、道路がなかったことを除いて、行く準備が整いました。コロンビーヌとル・チアが彼女に加わりました。メアは、低フェンスを追って、速度のために構築されたものを見て過ごした長さに気づいた。

ブロンズドライバー





アーカイブの写真
Mea Zen

ブロンズドライバーで再び止まった。彼女が立っていたところから、彼女は片手とホイールだけを見ることができます。反対側を歩き、突然スタンスを理解した。筆頭に最初の2つの単語を鉛筆で塗ります。

アドレスの客室





アーカイブの写真

Mea Zen

友達が移動した後、ハーバービューでカードを完成。「今日はどこにもレースしていない」。ついにホイールを見る時間があった」 アドレスの左の部屋。それから彼女はカードをオンにしてしばらくの間水を見ました。

Mea Zen Free・Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第108話

風の中で数えて

モナコ・メア・ゼン、コロンビーヌ、ル・チア

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

フラグ





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

風に開いたコロンビーヌの手の折り紙の旗の下。小さなスケッチのページでした。ル・チアは壁の上に飛んだ前にそれをキャッチしました。「今日は飛んでないものを描いています。」

壁の後ろ





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

石垣の後ろに避難しました。メアは、紙とル・チアの1つのコーナーを開催しました。コロンビーヌがついに鉛筆をページに入れると、風はやっと止まります。親友が行くようにしましょう。

ピラミッド





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

金属球のスタックを見た手順で。コロンビーヌは、その形状を捉えようとしました。ル・チアは、彼らが見られないものを含んでいたかどうか尋ねながら、メアはそれらをカウントしたいと思った。回答は、見積りに別の不確実性を追加しました。

サークル





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

クローズアップ, ボールに暗いパッチで飾られた反射。コロンビーヌは彼女のスケッチにいくつかの丸いマークを追加しました。メアはそれを調べ、それを何度もそれらをカウントするピティだと考えました。風から風を折るまで待っていた。

Mea Zen Free・Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第109話

仕事のあとの港

モナコ・Mea Zen

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

四重のロープ





アーカイブの写真

Mea Zen

メアは、クワの境界をマークするように見えるロープの周りにステップ。船に同じノットを通したところ、少し遠くのところ。夕方に描くことができるので、一回だけ覚えようとしました。

上記から





アーカイブの写真
Mea Zen

ロープが消えた様子から。ボートは長さで配置されたダッシュのように見えます。1バースが空だった。メアは、何かがそれに戻って来るかどうかを確認するためにしばらく待っていた。

最後のベンド





アーカイブの写真
Mea Zen

レールの内側に消えるまで、指でブレイクウォーターを追跡しました。朝は歩いていたクワシに、その心をつなぎ、つまみに繋がろうとしました。自分のルートは、かなり少ない直線を回しました。

明かりのともった窓





アーカイブの写真

Mea Zen

夕暮れは水に沈み、。メアはノットを描いてみましたが、彼女の鉛筆はループの間違った側に終わることを保たれました。窓が激しい港を横切ると、紙を上回って小角の列を描きました。明日はノットを残しました。

Mea Zen Free · Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第110話

城壁の下を通る道

モナコ・メア・ゼン、コロンビーヌ、ル・チア

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

上へ





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

ル・チアは、要塞を見上げると、上り坂のルートを選んだ人が尋ねました。コロンビーヌはメアに指しています。メアは、戻りルートも静かに選びました。周りを回すために部屋を見つけたら、どこからでも始まります。

トンネルの横





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

トンネルの口を歩くと、涼しげな空気が息づく。ル・チアは冷静に止まりました。コロンビーヌはバッグを握り、最初の公式の停止を宣言しました。

下の壁





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

上記からは石垣が海に出てきています。メアは、朝に終ったと考えた場所を指しました。ここまでは、その角を辿り着き続けることがわかる。

彼らが回ったとき





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

コロンビーヌ は最初から戻って、他の 2 つのステップを戻しました。突然、すべての港が目の前にありました。ル・チアは、彼女の肩を脱いで彼女のバッグを滑りました。そこで、初頭に発表がなかったと言いました。

Mea Zen Free・Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第111話

石の羽根

モナコ・Mea Zen

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

1本の翼





アーカイブの写真

Mea Zen

メアは導かれた翼に刻まれたことに気付いた。舗装から、ほとんどその輪郭を見ることができます。数歩後、所属する生き物の裏側を出て行った。

3つのアーチ





アーカイブの写真
Mea Zen

大聖堂の外には、すでに視界から出ていたが、羽を振り返っていました。それから彼女は入口に回しました。内側に見つけたもののためにノートブックに空白のパッチを残しました。

静かな場所





アーカイブの写真
Mea Zen

ピードの横に止まった。遠くから赤のパッチよりも、銅像が少し過ぎていました。目が調節したら、折り目がクロークに現れ始めます。

着色されたガラス





アーカイブの写真
Mea Zen

別の図の上には、ステンドグラスの窓が見つかりました。羽根の角に少し赤い四角だけをつけました。夕方に見たとき、彼女は自分の目が調節するのにどれだけの時間を費やしたかを思い出しました。

Mea Zen Free · Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第112話

花壇に道をあけて

モナコ・メア・ゼン、コロンビーヌ、ル・チア

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

花の列





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

ル・チアは花壇で最初に止まりました。メアは、色を3つすべて身に着けていたことを示唆しました。コロンビーヌは彼女の袖を点検し、彼女の袋で緑を提供しました。ル・チアは、バッグが茶色になったことを反対しました。

ホース





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

庭師がホースを移動し、友人が道をクリアした。遠くの端に植物に到達するために水が待っていた間、彼らは靴の横に成長する最小の花に気付いた。

茂みの上の塔





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

茂みの上にタワーが現れました。コロンビーヌは、反対の見方のために広場に戻って行きたかった。メアは別の瞬間を求めた。屋根の小さな部分が現れて、葉の間に消えているのが好きでした。

四角に





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

四角には、ファサード全体を見ることができます。ル・チアは、彼らが探していた色を発見しました:すべての袖に同じ光の色合い。コロンビーヌは彼女の袋で一目見えました。「私は緑のために私の主張を撤回する」と彼女は言いました。

Mea Zen Free・Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

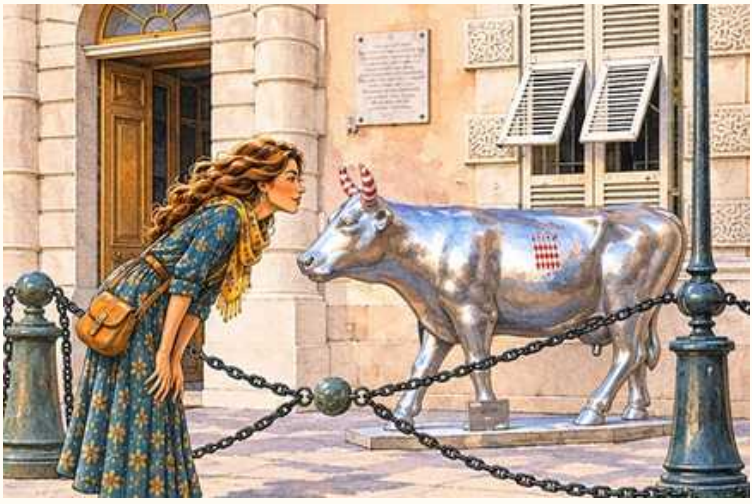
第113話

名刺を持たない彫像たち

モナコ・Mea Zen

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

銀製の牛





アーカイブの写真

Mea Zen

誰かが待っていたように、ドアの銀製の牛は、見ていました。メアはチェーンの向こう側に止まり、名前をつけました。引っ越しした時、記憶できない。

塗られた牛





アーカイブの写真
Mea Zen

第二牛を呼ぶのは、気にせず。代わりに脚の色を覚えているようにしました。一度見てみると、落ち着いて、静かに右注文で繰り返そうとしました。

金属球





アーカイブの写真
Mea Zen

金属の球の積み重ねで2つ見ようとしました。空が異なるパッチを反映したため、それぞれが異なる外観を閉じます。メアは彼女のノートブックで2つを描き、それらに異なる影を与えました。

サイレントベル





アーカイブの写真
Mea Zen

最後の暗い彫刻はベルの彼女を思い出させました。その輪郭と海を眺めながら、しばらくの間、海を眺めました。彫刻のノートを閉じたとき、名前がなかった。誰がいたのかを正確に知った。

Mea Zen Free · Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第114話

三人への招待状

モナコ・メア・ゼン、コロンビーヌ、ル・チア

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

見学





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

宮殿コロンビーヌがブランクのカードを招待状として手渡しました。メアは彼女のポケットに彼女を置きます。ル・チアは到着時刻がわからないので、彼女はすぐに彼女を手渡しました。

送信ボックスのホワイト





アーカイブの写真

Mea Zen · Colombine · Lu Cia

白の送信箱の横に、会話が遅くなります。ル・チアは、ガードを見ながら、自分の靴で見ました。「大きな入り口にかなりよく押されてる」と彼女は言いました。どれも近いうちに動きました。

クリアパス





アーカイブの写真

Mea Zen · Colombine · Lu Cia

ガードが渡るとき、友人は横にステップアップしました。メアは彼女のポケットに手を置き、風は彼女の招待を受けません。コロンビーヌは、まだ署名したかどうか尋ねました。

新規アドレス





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

メア門がカードを取った。「会場をカフェに変更しました。」と発表しました。ル・チアは、すぐに立ち上がる可能性がある限り合意しました。ホストとして、コロンビーヌはケーキを選ぶ権利を留保しました。

Mea Zen Free・Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第115話

手のひらひと幅の港

モナコ・Mea Zen

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

樹木の間





アーカイブの写真

Mea Zen

メアの木の間には、非常に港の手すりを持っていました。移動すると、建物の隙間が広く、もう1階が現れます。彼女は戻ってステップバックしました。小さい景色が好きでした。

ストライプ





アーカイブの写真
Mea Zen

レールは、パスを渡るストライプを剥がします。影を踏み入れずに交差しようとしました。あと3拍ペースで日光の間違った側にいたし、笑いていた。

グール





アーカイブの写真
Mea Zen

壁に1脚が羽に刻まれたグールを敷き詰めます。メアはよく戻って止まったので、彼女はそれを始まらないだろう。しばらくの間、彼らは両方が港を見ました, それぞれ異なる高さから。

屋根の上に





アーカイブの写真
Mea Zen

高い外観から、建物間のボートの列全体を見ることができます。ノートブックを開いたが、ページ全体を必要としなかった。ハーバーの手すりを計測しました。船が出て行くのに十分だった。

Mea Zen Free · Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第116話

ボンネットに浮かぶ雲

モナコ・メア・ゼン、コロンビーヌ、ル・チア

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

磨かれた列





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

コロンビーヌは磨かれた車横に遅くなりました。ル・チアは、彼女が好きなものを選んだと思いました。コロンビーヌは、ひとつのブランチを眺めていましたが、3つのボンネットの3つの異なる方法を反映しました。

シルバーボンネット





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

銀ボンネットに雲が現れました。メアは写真を望んでいたが、彼女は彼女の携帯電話を持ち上げたとき、それは端に移動していた。後ろに足を踏み入れて、上空をフレームに収めます。

車の後ろ





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

舗装に車を歩いていた。後窓は、通りよりも急に多くの木が並んでいます。ル・チアは、彼女の友人が見落としていた彼らの背後にある実際のツリーを指摘しました。

時計





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

通りの上の時計は、彼らが分のために停止することを意味していたことを思い出させました。メアは彼女の携帯電話を置きました。コロンビーヌは時計や雲の数で分が測定されたかどうか尋ねました。3つの優先クラウド。

Mea Zen Free・Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第117話

まなざしの向かう先

モナコ・Mea Zen

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

オリーブの木の下





アーカイブの写真

Mea Zen

木の下にある青銅色の数字が立っています。メアは、通りの向こうに何かを発見するために、その視線を追った。見つけたのは道に落ちる光のひと筋だけだった。ほんの一瞬、ひろげたスカーフのように見えた。

フラグの中で





アーカイブの写真
Mea Zen

旗の中で、彼女は別の数字が方法を見ていると思った。風が吹いて生地を持ち上げるのを待っていた。後ろにドアウェイがありました。右方向を眺めながら、ちょっと高すぎて見ていました。

反対側から





アーカイブの写真
Mea Zen

四角には、背後から図を見るために台座を丸めた。その角度から、舗装のエッジが導いたところに気づいた。続いて、彼女が始めた場所に戻った。

宮殿の像





アーカイブの写真

Mea Zen

宮殿の石垣は通りから眺めました。今回、メアは視線を追っていませんでした。代わりに空を見上げる。帰り道の外に座る時間があるか知りたい。

Mea Zen Free · Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第118話

岸にとどまった線

モナコ・メア・ゼン、コロンビーヌ、ル・チア

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

赤い線





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

ル・チアは、港の赤線を指しています。コロンビーヌは、それをすべての方法に従うことを望んでいました。メアは、彼らが望むとき、彼らは景色のために脇に回すことができる条件に合意しました。

遠くの海岸





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

丘陵地を一望できる水戸。ル・チアは、それらの間に山々の垣根のようなものの2つを見つけました。コロンビーヌ は横方向に移動しました。山が消えた。「あなたがたの立場は眺めの一部である」と彼女は言いました。

リフレクション





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

隣接する建物の反射は、隣接する水よりもはるかに遠くに伸びていました。メアは、どの建物がより高いかを推測しようとした。波が線を破っただけ。

ターコイズ水





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

展望台からは、ターコイズ水と、朝から撮影したルートが見えます。赤い線が見えなくなった。コロンビーヌはノートブックを開いたり、終わることなくそれを書きました。ル・チアはうなずいた。「わたしたちは、決して終端に至ったことはない。」

Mea Zen Free・Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第119話

窓の向こうの色

ポルト・Mea Zen

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

窓





アーカイブの写真

Mea Zen

メアは、思い出したいポルトの店の窓で青く見えました。街中にある建物がガラスに現れ、色が変わったとき。オリジナルのスポットに戻りました。誰かが今の反射を歩いていた。

アップヒル





アーカイブの写真
Mea Zen

ショップフロントと駐車場の車間をバラに。メアは、彼女が行ったように、ドアに同じ青いものを見つけようとしました。それぞれの色合いは、彼女の瞬間のために彼女を確信しました, 次の1つは彼女自身を疑ったまで。

ルーフトップ





アーカイブの写真
Mea Zen

四角で見上げる。屋根が重なり、その背後にある別の方法を与える各々。数分間、自分の輪郭は色よりも彼女に関連した。

教会によって





アーカイブの写真
Mea Zen

教会の外には、ノートブックを開いたり、「道路を渡る家と青い」と書いています。塗料店は、その説明から混在していなかったが、その夕方、窓を思い出すのに困ったことはなかった。

Mea Zen Free · Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第120話

四通りの見上げ方

ポルト・メア・ゼン、コロンビーヌ、ル・チア

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

カバーの下にある中庭





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

ポルトの宮殿の中、コロンビーヌは、すべてのアーチを数えることができるかどうかを確認するために、アトリウムの中心にスポットをピックアップしました。ル・チアは柱の後ろに1つを指摘しました。メアは、すべての新しい行がそれらの上に床を始めた場所を見上げました。

アイアンネットワーク





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

太陽の下で メア 少し円に鉄の線を追った。ル・チアはセンターに独自のルートを見つけました。両方が現実化した時に、その道を切り離さないと、お互いに示しました。

アンダーフット





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

コロンビーヌはタイルを指摘しました。彼女は1パターンで花を発見しました。別の星と3分の何かは、同意できませんでした。ル・チアは、どこに所属する行を正確に見るためにクロッシングしました。

赤の椅子





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

赤い椅子は、彼女が立っているどのくらいの長さを明らかにしたメアを作った。「座る場所に行ってみよう」と彼女は言いました。コーヒーの外には、もう3つ見上げます。パラソルの6つの普通の継ぎ目を発見しました。

Mea Zen Free・Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第121話

自分の速さで、一段ずつ

ブラガ・Mea Zen

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

小さなチャペル





アーカイブの写真

Mea Zen

ブラガの上のチャペルで、メアは今日の手順をカウントしないと決めた。初めてのフライトでは、7人で彼女を捕まえた。代わりに、手すりの影をたどってみた。

着陸





アーカイブの写真
Mea Zen

彼女はまだ多くの息をのむを得ている間、彼女は広い着陸に止まった。上記から足を踏み入れ、下から会話が始まりました。しばらく経つと、彼女は彼らが見た前に、彼女はペースで歩行者を区別することができます。

ターン





アーカイブの写真
Mea Zen

階段を上ると、スイッチバックが切れる。メアは、彼女が休息した土地を見つけました。時間がほとんど過ごした場所だったのに、かなり小さかったです。

キャリッジ





アーカイブの写真

Mea Zen

ケーブルカーのそばで、車両が一度も曲がらず、まっすぐ上っていくのを見た。とても短い時間で、。その後、彼女は次のから彼女の方法を見つけるために使用した最初のシャドウを認識する柵で。

Mea Zen Free · Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第122話

ブラガの三つの眺め

ブラガ・メア・ゼン、コロンビーヌ、ル・チア

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

階段の下





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

コロンビーヌは、トップで最高のビューを見つけたかった。投票するとメアは尋ねました。ル・チアは、ベンチを見つけたら特に、立ち上がる途中で彼女の心を変更する権利を予約しました。

ストーンスペクター





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

仏像に立ち止まる。以下から、彼らは主に手を見ることができました。彼らが顔を近づける。コロンビーヌが鉛筆を取り出しました。ル・チアは絵を描いていたが、その基地の影を描いていたんです。

トップに





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

壁面を上から広げる。メアは、階段、コロンビーヌ屋根、ル・チアの丘を枝から見ました。同じ場所から、違うものを見るために、場所を交換しました。

雲の下





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

暗くなると、ほかの細部が消えたあとも、丘の稜線だけは残っていた。「それで、誰が勝ったの？」 メアは尋ねました。コロンビーヌは、スケッチブックとル・チアがついにベンチを発見しました。投票をしたことは決してなかった。

Mea Zen Free・Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第123話

頭の上の家

ギマランイス・Mea Zen

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

狭い車線





アーカイブの写真

Mea Zen

狭いギマレス・レーン・メアは、ドアを勉強して、帰り道を覚えています。何軒か先まで来ると、どれも似たように見え始めた。ドアの塗料よりもゆっくりと変化する何かを回したり、見つけたりすることができます。

ティムバー





アーカイブの写真
Mea Zen

彼女の上で、彼女は木材で編組したバルコニーを発見しました。片面のビームが少しずつ曲がります。彼女は目を閉じて、窓を見つけた場所に連れて行った。その場を思い出しました。

フラワーズ





アーカイブの写真
Mea Zen

次のバルコニーに赤い花がエッジの上に傾いた。舗装から、彼女はほとんど葉の脇の下を見ることができます。街を横断し、緑に2つのフルレッドの花が現れました。

ランドリー





アーカイブの写真
Mea Zen

帰りに、彼女は風の中で洗濯シフトでナビゲートしました。定番のランドマークはなかったが、躊躇せずに見つけた。ビームの内側に渡されたので、彼女は目を見上げてクロッキングされた1で勝ちました。

Mea Zen Free · Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第124話

四つ折りの地図

ギマランイス・メア・ゼン、コロンビーヌ、ル・チア

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

ミーティング





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

ギマレススクエアコロンビーヌでは、波で自分自身を発表しました。ル・チアは既に住宅を探し、メアは地図を折り畳んでいました。互いに挨拶をした時、まだ選ばれたことのないテーブルの半分を覆いました。

最初の折り目





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

彼らは座って、メアは半分のマップを折り畳みました。ル・チアは、彼らがクレアの間違った側にいた発見しました。コロンビーヌは、周りの紙を回し、アーチに指摘しました。地図上と前面にありました。

アーチの下





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

最初に行くためにいた石のアーチの下に、彼らは最初に行くために変更しました。ル・チアは、通りの終端を眺めることができ、メアは地図を握り、コロンビーヌは石を見ていました。2つのステップの交差は、それらを分かち合った。

青い窓





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

青色の窓からは地図を外さない。メアは、この道を戻すために、外側の四半期にノートを鉛筆で描きました。通りを意味していたら、コロンビーヌさんに尋ねました。「ゆっくり行くべき道」とメアは言いました。

Mea Zen Free・Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第125話

枝を伸ばす石

バターリャ・Mea Zen

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

壁の外で





アーカイブの写真

Mea Zen

バタルハの修道院の外に、メアはトップから図面を始めてみました。最初の輪郭は、ほとんど全シートを取っ, ドアのための部屋を残さない。ページを回し、実際に行く場所を始めた。

アーチ





アーカイブの写真
Mea Zen

内側は、単一のアーチをピックアップしました。最後まで辿り着いたので、もう後ろから始まりました。最後の彼女は彼女の最初の図面で、彼女が見逃したギャップのための部屋を発見しました。

ボールト





アーカイブの写真
Mea Zen

上には、石の肋骨が枝のように広がります。最初に描画する行は、メア は言うことができませんでした。鉛筆をページの角に置き、まだ見つけなければならないすべての行の途中で放置します。

光の縞





アーカイブの写真

Mea Zen

クロースターでは、床を渡る光の狭いストロークを発見しました。彼女は端に座って、彼女が無形を残した単一の明るいラインで仕上げました。あとは、道の残りが暗く感じたように見えました。

Mea Zen Free · Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第126話

路地の魚

オビドス・メア・ゼン、コロンビーヌ、ル・チア

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

城が先に進む





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

城がオビドスの上を眺めてきたとき、ル・チアは最初にその下にあるものを見ることを提案した。門とコロンビーヌを向いたメアは、白い壁を見ました。すでに3つの異なる散歩を念頭に置いていなかった。

片側への車線





アーカイブの写真

Mea Zen · Colombine · Lu Cia

道路を車線に切り離しました。後ろに来たまで横を歩くだけでは十分でした。壁に押されたコロンビーヌは、反対の窓の青い端に気付きました。

青枠フレーム





アーカイブの写真

Mea Zen · Colombine · Lu Cia

ル・チアは、角を囲んで青を続けたと思いました。レーンの端から見えましたが、次の壁は黄色でした。メアは、色によって戻って自分の方法を見つけることを提案しました, 一つずつ変更されたすべての時間を中止。

壁に魚





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

彼らはみな、セラミック魚のディスプレイで一緒に止まった。コロンビーヌは青色を裏切ったものを選びましたが、壁に置いておく。ル・チアは、そこにそれを正確に思い出させたいと思いました。帰り道には、地図や城も必要でした。

Mea Zen Free・Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第127話

黄色い塔の下の日陰

シントラ・Mea Zen

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

白の宮殿





アーカイブの写真

Mea Zen

シントラの白い宮殿の前の広場では、メアはより高い行くことにしました。周りの人が写真を撮るのを止めていました。最初はノートを置き、自分の手が登りに自由になる。

木造道路





アーカイブの写真
Mea Zen

森の中で彼女は簡単に自分自身に彼女のペースを持っていた。四角の音を失うのに十分な音が1本あった。葉っぱが光を受けてきらめく壁の前で立ち止まり、しばらくはただ風の音に耳を澄ませた。

イエロータワー





アーカイブの写真
Mea Zen

黄色の塔が現れたとき、彼女はほとんど反射して彼女のノートブックを取り出しました。太陽に立っていて、彼女の絵を見ることができないことに気付いただけ。黄色が明るく見えるアーチの下にありました。

最後のアーチ





アーカイブの写真

Mea Zen

靴の直前に日光が終わったところ、彼女は座っています。光と陰の境界線を描きました。ページの足で、彼女は本当に探していたものが、しばらくの間座ってどこかだったと書いた。

Mea Zen Free · Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第128話

川が少しずつ姿を見せる

ドウロ渓谷・メア・ゼン、コロンビーヌ、ル・チア

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

霧





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

ドウロ渓谷の上、最初に丘の上に横たわるように見える雲を見た。メアは地図上に川が走る場所を指しました。彼らを盗んだ場所から、彼女の友人はそれのために彼女の言葉を取らなければならなかった。

最初のギャップ





アーカイブの写真

Mea Zen · Colombine · Lu Cia

霧に隙間が開ける。コロンビーヌはブドウの最初の行を出し、ル・チアは水の上に一目立ちました。とりあえず、ミストは閉まりました。コロンビーヌは、スケッチブックにマークを置き、どこにいたかを覚えています。

ベンド





アーカイブの写真

Mea Zen · Colombine · Lu Cia

次の外観では、完全な川の曲がりを見ることができます。メアは地図を折りました。ル・チアは、一瞬の目で朝から川を描いてみたいと思い出しました。「とてもまっすぐな川だった」と彼女は言いました。

テラス





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

最後の停留所で、テラスは水の上に別の後に1つ現れます。コロンビーヌは、いくつかの行だけを描き、それらの間にたくさんのスペースを残しました。霧が破れてしまったが、まだ絵の中に残っていると感じた。

Mea Zen Free・Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第129話

通りの向こうの窓

ポルト・Mea Zen

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

最初の側





アーカイブの写真

Mea Zen

太陽に交差するメア。遠くの窓は、建物の片を背後にあるとしました。あとは、フレームが空に満ちていました。

ミラー





アーカイブの写真
Mea Zen

1つのウィンドウは2つを反映しました。車で行くまで、メアは見た。一瞬で家全体を消失し、車の白い屋根だけが残っています。

反射なし





アーカイブの写真
Mea Zen

ブロックの最後に、ウィンドウが開きます。反射の代わりに、彼女は暗い長方形とカーテンのストリップを発見しました。初めて、中々人が同じ通りを観ていたのか疑問に思っていました。

2つの円





アーカイブの写真

Mea Zen

ホールで高く、丸い窓が見つかりました。自分の姿は見なかった。一度に見ると、二輪の光がポルトに足りないところに立っていた。

Mea Zen Free・Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第130話

もう一度めぐり会った模様

ポルト・メア・ゼン、コロンビーヌ、ル・チア

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

天井





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

パネル天井のコロンビーヌでは、1つのパネルを選び、ホールのもう一方の端から再度見つけることを約束しました。そこから、彼らはすべて同じように見えました。ル・チアは、繰り返しなかった部分を探して提案しました。

カービング





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

メアを彫る石では、その出発点に返されたラインが発見されました。鉛筆でやってみた。彼女の端が会うのに失敗したとき、コロンビーヌは、ギャップを残して訪問して運ぶことを提案しました。

サロン





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

ル・チアのサロンでは、椅子が両側にほぼ同じレイアウトされたことに気付きました。代わりにウィンドウに直面しました。その1つの椅子の場所を最初に見ている各部屋に入ったから。

タイル





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

メアが再び彼女のノートブックを開いたタイルによって。2つのパターンの間に見られたようなギャップに点を置きます。コロンビーヌは、特に訪問のためにそこに置いた人かどうかを疑った。

Mea Zen Free・Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第131話

庭をぐるりとひと回り

ブラガ・Mea Zen

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

2つのタワー





アーカイブの写真

Mea Zen

ブラガの塔の下、メアは、彼らが正方形の両側から同じように見えるかどうかを疑問に思っていました。一方、彼女はすべてのウィンドウを見た。一方、木は見渡され、代わりに彼女の注意を勝ち取った。

ベッド周辺





アーカイブの写真

Mea Zen

庭では、彼女は円形の花壇の周りにゆっくりと歩いていました。遠くの端に花が太陽を失いました。サーキットを終えると、シャドウもスタート地点に辿り着いた。

ドアウェイ





アーカイブの写真
Mea Zen

ストーン・ドアウェイでは、しきい値の小さなすくいに気付きました。歩き回る人は何人か疑問に思っていました。そこで、もう2人部屋を横に動かして部屋を作った。

屋根の下





アーカイブの写真

Mea Zen

インサイド、屋根の輪は彼女の目を引きました。ノートブックの1本だけを描き、半分を暗くする。夕方に再び見たとき、それは天井と花壇の両方の彼女を思い出させました。

Mea Zen Free · Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第132話

噴水に寄り道

ブラガ・メア・ゼン、コロンビーヌ、ル・チア

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

プリンシズ





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

ル・チアが初めての彫像で、他人よりも背が高いように見えた石膏を目撃しました。コロンビーヌは、それらを近づけて比較したいと思った。最下段のメアは、その2つの端を全く見ることができませんでした。

手順を一時停止





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

途中で2人乗りが通過するまでは、途中で止まった。足跡が水に耳を傾けたように。ル・チアは、他のフライトにコミットする前にそれを見つけることを提案しました。

噴水で





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

噴水はすぐ角にありました。コロンビーヌは、彼女のスケッチブックで水が走る方向を指摘した。メアは、彼らが戻ってくるかどうかを尋ねました。コロンビーヌは、他の噴水を見つける可能性が高いと認めた。

庭園





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

噴水を超えて、道は一段の階段を使わずに探検できる庭でした。ル・チアは1つを選びました。彼らは、彼らが答えを念頭に置いた時間なしで、ダウンの途中で王子を覚えていました。

Mea Zen Free・Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第133話

灯りは頭上に残った

ブラガ・Mea Zen

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

夕暮れ





アーカイブの写真

Mea Zen

メアは、ドアウェイに戻って、広場は1時間前に異なる見ていました。窓の輪郭は壁と結合しました。彼女が今から認めるものを見るのを待っていた。

キャンドル





アーカイブの写真

Mea Zen

内側は、まず、彼は祭壇によって暖かい光だけを見ることができます。目が調整したので、後ろに色の違いを出すようになりました。夕方までは外に落ち着きがちな。

リットファサード





アーカイブの写真

Mea Zen

裏返しをしてしまった。光は、フェードの間にある石を囲んで、ファサードを一緒に開催しました。メアは別の訪問のために1つの明るいアーチを記憶し、他の人を保存しました。

手順を下ろす





アーカイブの写真

Mea Zen

小さなランプが階段をマークしました。数歩後に、彼女はもはや塔を見ていないが、光から光へのルートを明らかにした。しばらくの間、彼女を背後にある最後の1つのシャイン。

Mea Zen Free · Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第134話

曲がった梁の下で

ギマランイス・メア・ゼン、コロンビーヌ、ル・チア

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

アーチの下





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

低いアーチの下には、彼女は余裕のある部屋を持っていたにもかかわらず、コロンビーヌが鴨ました。メアは同じことをしました。ル・チアは、右上を歩いたり、不均等な舗装が彼らの注意に値したことを指摘しました。

花の花





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

舗装のマークを歩くと、窓の下の花が目を引く。ル・チアは、だれもをこぼすことなく、水やりした様子を疑問に思っていました。コロンビーヌの靴の横に着陸したあとに。

ビーム





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

メアは、彼らが見つけることができる最も刻まれたビームを描画することを発表しました。それぞれが異なるものを選びました。彼らは一緒に立っていたとき、彼らは2が反対の端からちょうど同じビームを選ぶことが判明しました。

バルコニー





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

バルコニーのコロンビーヌの下には、太陽の外にスケッチブックを開催しました。メアは、窓の後ろに消えた場所までビームを描きました。ル・チアは、水滴が、図面よりもかなり精密だったことを追加しました。

Mea Zen Free・Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第135話

木に映る緑

ギマランイス・Mea Zen

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

バルコニー





アーカイブの写真

Mea Zen

道路を渡ってバルコニーの柵は緑の鋳造物で取られた。メアは、それが塗装だったと仮定したが、彼女が交差したときに灰色になった。それから、彼女はそれを上に移動する葉の影に気付いた。

シャッター





アーカイブの写真
Mea Zen

木製のシャッターでは、実際の緑色の塗料が発見されました。ヒンジと木が透き通ったことで薄く、。メアは、それが実行されたエッジと一緒に緑を覚えることにしました。

最上階フロア





アーカイブの写真
Mea Zen

一方、木材のバルコニーは、それぞれ上に積み重なった。それぞれのシェードは、以下の1つを陰付けました。メアは、枝のあらゆる動きで色が変化するので、最長のところを見ました。

タイル





アーカイブの写真

Mea Zen

タイル張りの窓では、色合いでも色が保持されます。彼女のノートでは、彼女は横に2つのパッチを描きました, 1つのシャープと1つのぼやけ。彼女が止まったとき、彼女はまだ木だったことを知っていた。

Mea Zen Free · Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第136話

しばらく立ち止まれる場所

ギマランイス・メア・ゼン、コロンビーヌ、ル・チア

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

上の階の窓辺で





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

窓に向かって見て、メアは手を持ち上げて、それを下げました。誰がそこに立っていたか、反射を見ているか決められませんでした。コロンビーヌは、背後から落ちていたル・チアに羽ばたくを提案した。

ライン





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

ル・チアは、通りの上の陰で洗濯物を眺めていました。「今日は風が私たちのためにしてくれると思う」と彼女は言いました。それらはすべて彼らのスカーフを調整し、いくつかのステップを移動しました。

張り出し窓





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

窓から見た景色をイメージしてみた。以下から、彼らが直面した方法だったと伝えることができる。角が温かみのあるけれど、ランドマークとして借りて直進し続けた。

アーケード





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

アーケードでは、ブロックせずにスタンドする場所を見つけました。パスターズ・バイの3つのグループとガットを通した。ル・チアは休憩を提案するために意味していたことを思い出しました。本当に、彼らはただ一つだった。

Mea Zen Free・Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第137話

屋根のない部屋

バターリャ・Mea Zen

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

中庭





アーカイブの写真

Mea Zen

バタルハでは、メアはドアの上に彼女の目で中庭を渡しました。四角を振り返ってみると、ひとつの柱の後ろに収まるように見えた。一歩先を踏み入れて、ゆっくり歩くようにしました。

3つのアーチ





アーカイブの写真
Mea Zen

3つのアーチの下に彼女の足跡は静かに成長しました。道のりが続くと予想して、それぞれに止まった。自分の推測のどれも、その実端に達した。

青色に反対する





アーカイブの写真
Mea Zen

石の間を空に開く場所が現れました。壁の縁に、石が屋根に会ったかもしれない場所を見ることができる。壁はここが終わっていましたが、空は全体を見渡せます。

オープンページ





アーカイブの写真

Mea Zen

アーチの始まりだけを描きました。紙のブランクを左にし、手のひらで風に耐えた。クラウドが最終アーチを超えて移動するまで開いていました。

Mea Zen Free · Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第138話

石に刻まれた葉

バターリャ・メア・ゼン、コロンビーヌ、ル・チア

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

サンプル



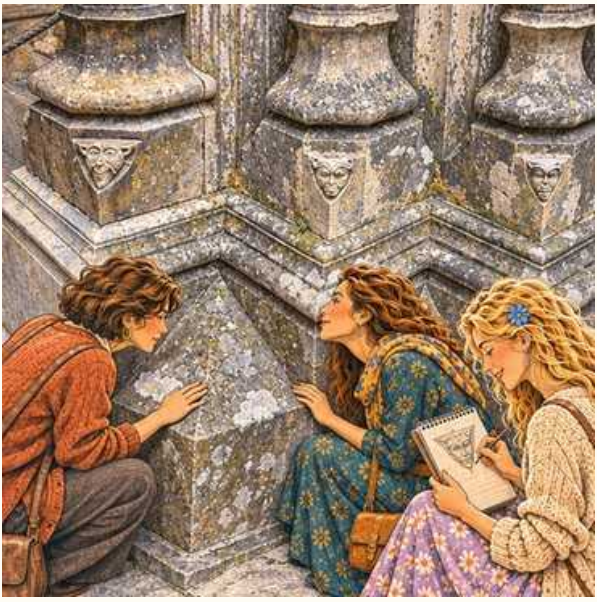


アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

装飾された壁では、ル・チアは葉のように見えるものを発見しました。コロンビーヌ は、羽根を見ました。メアは輪郭だけ先に描くことにした。名前をつけるのは、三人でもう少しよく見てからでいい。

拠点で





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

柱の底に、一番近い端は、他人よりも滑らかに見えた。コロンビーヌは、彼女のスケッチの同等のエッジを発見しました。鉛筆で丸みを帯び、形を変えようとしたのは少ししかなかった。

資本金





アーカイブの写真

Mea Zen · Colombine · Lu Cia

より多くの葉が出現し、より小さく、鋭利な下で高まる。ル・チアは、彼女が考えていた形を認めた羽根でした。メアは、彼女の最初の輪郭の横にあるページ上の彼女の鉛筆をタップしました。

星の星





アーカイブの写真

Mea Zen · Colombine · Lu Cia

最後に、星の形のボールトの中心に見えました。羽根の質問を下から解決しませんでした。ここまでは、単語を使わずに同じ点に見かけました。

Mea Zen Free・Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第139話

窓辺の石

バターリャ・Mea Zen

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

静かな壁





アーカイブの写真

Mea Zen

修道院では、メアは壁に対する墓を発見しました。カットされたものをすべて読み込めませんでした。彼女はまだ立っていたし、光がそれらに達したように、その部分は異なる見られたことに気づいた。

折り目





アーカイブの写真
Mea Zen

次の墓では、石に彫られたマントのひだをじっと眺めた。繊細に見えた。彼らが合併する段階の遠い、彼女はすぐに詳細がシャドウに戻った方法に驚いた。

窓の下





アーカイブの写真

Mea Zen

壁に高い窓から光が落ちましたが、まだ床に辿り着くことはありませんでした。メアは通路の端に着手しました。ストライプを去る前に、指の幅が無かった。

アウトライン





アーカイブの写真

Mea Zen

最後のストップで、彼女は彼女のノートに石のエッジの輪郭だけをコピーしました。後で名前をチェックしたい。今は、光がどこから来たのかを描いています。

Mea Zen Free · Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第140話

四度、上を見上げて

バターリャ・メア・ゼン、コロンビーヌ、ル・チア

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

オーバーヘッド





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

石の肋骨の下にコロンビーヌがまっすぐに見える場所を選びました。メアは、彼女の見晴らしを広げるために戻って歩いた。ル・チアは、友人が一度に話して止まったと気付いた場所で滞在しました。

ドアウェイクローズアップ





アーカイブの写真

Mea Zen · Colombine · Lu Cia

ドアウェイでは会話を再開しました。ル・チアはポータルに沿って同じ装飾が現れたと思いました。コロンビーヌは、空気中の指でその位置をマークし、遠くから見つけることができた。

ステップバック





アーカイブの写真

Mea Zen · Colombine · Lu Cia

正方形から小さな装飾が消えました。それらに導くラインは残っています。メアは今、彼女は一瞬前に立っていた場所を説明するのが簡単です。

再びインサイド





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

最後のボルトでは、もっと馴染みのあるパターンを見つけました。ル・チアは、その繰り返しをカウントしようとしました。成功の4回頭を傾けなければならないと気付いたとき、彼女は周りを回し、代わりに天井全体を取った。

Mea Zen Free・Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第141話

弧を描くベンチ

マフラ・Mea Zen

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

宮殿で





アーカイブの写真

Mea Zen

マフラの宮殿では、メアは中心に立ち向かうようにしました。一度に羽が右に見えると、もう少し長く見えた。エントランスに面しているか、ついに動いてチェックを止めました。

フォアコート





アーカイブの写真

Mea Zen

フォーコートの両側から眺めるようになりました。片線でそれらを書きましたが、もう一方の端に残っている紙があまり多くありました。そのページをそのままに、庭に歩いていた。

グリーンパス





アーカイブの写真

Mea Zen

庭は両側にスクラブを持っていた、あまりにも。周囲を静かにカーブした道。メアは、彼女が途中に保たれなければならなかったとき、それはより楽しいアンダーフットを発見しました。

青いエッジ





アーカイブの写真

Mea Zen

カーブしたタイル張りのベンチの端に座っています。ノートに青の音符で空間を埋めました。一日の終わりまでに、宮殿とそこから休む場所の両方でページが保持されます。

Mea Zen Free · Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第142話

青い門の下で

オビドス・メア・ゼン、コロンビーヌ、ル・チア

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

エントランスのタイル





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

オスビドスの門下では、青のタイルでメアが止まった。コロンビーヌは、彼らが彼ら自身に持っていたまで待つことを望んでいた。ル・チアは宇宙が消えたとき、そのイメージは人々のスケールの感覚をすぐに失いました。

ブルーライン





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

窓の下の青いラインに続く通りに沿って。戸口に破り、また、その向こうに再び始まった。ル・チアは、あらゆるギャップでストリートを見渡すことを提案しました。

ザ・ランタン





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

鉄の灯籠で、コロンビーヌは2番目のようなシャドウ、薄手のバージョンのシャドウを探し出しました。メアはそれをスケッチしたかったが、過去と影が簡単に消えた人々を歩きました。待たせた3つすべて。

静かな角





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

窓の下の鍋に面した静かな車線。ル・チアは、タイルがまだ日光を持っていた間、ゲートに戻ることを提案しました。帰り道では、各ギャップでどこか違う場所を見ました。

Mea Zen Free・Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第143話

風にはためく布

オビドス・Mea Zen

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

ドアウェイに





アーカイブの写真

Mea Zen

オビドス店の外では、メアは布の動きをキャッチしました。うちに、誰かを引っ張っていたと思った。その後、再び動かして後ろに空のドアだけだった。

棚の上に





アーカイブの写真

Mea Zen

レールは車線の両側を並べます。風が吹くたび、一枚のスカートがもう一枚に重なった。メアはそれらが一部を待っていたので、彼女は一度に両方の色を見ることができます。

スカーフ





アーカイブの写真
Mea Zen

彼女が光まで1つを握ったスカーフの中で。反対側から薄く見えましたが、布は指に変わっていませんでした。後ろに折りたんだし、空を抱いた側を思い出した。

窓の窓





アーカイブの写真

Mea Zen

青い窓に、再び止まった。シャッターは動かなかったが、壁に沿う自分のスカーフの影が飛んでいた。初めての日は、二人の色を見せる人には待つ必要はなかった。

Mea Zen Free · Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第144話

木々のあいだの城

シントラ・メア・ゼン、コロンビーヌ、ル・チア

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

スクエア





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

ル・チア広場では、すべての興味深いことは今日上りになるだろうと述べた。コロンビーヌは、地面レベルで興味深い見ているベンチに指摘しました。メアは、その最初の丘の上に座って、見かけました。

住宅を超えて





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

最後の家を越える木造の斜面。それぞれの友人は別の方法を見ました。自分の選択を指摘した時、通りに3つの異なるターンを狙った3つの針。

ツリートップスの上





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

ル・チアは、ツリートップスの間に城を最初に見かけました。緑の上に立つように見えました。1つのブランチをひたすと、その3つすべては、彼らがそれを見ることができる場所に戻ってきました。

石のアーチ





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

広いアーチでは、彼らは戻って道を思い出させるために停止しました。コロンビーヌはベンチをもう一度提案しました。朝と同じ意味で、今はまさにその丘の量を知るようになりました。

Mea Zen Free・Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第145話

タイルのある曲がり角

シントラ・Mea Zen

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

白いコーン





アーカイブの写真

Mea Zen

シントラの屋根の上に白い円錐形のバラ。メアは、彼女はそれを視力で保ち、彼女の方法を知っていると考えた。最初の曲がりで消えました。街中を眺めながら、どこを導いたかを見つめたいという想いがまだありました。

支店





アーカイブの写真

Mea Zen

ツリーの下に2つの枝が交差するポイントを鉛筆で塗りました。頭を動かすと、全く触れなかったのを見た。彼女は彼女のノートブックで少し早くラインの1つを終えました。

壁に沿ってタイル





アーカイブの写真

Mea Zen

タイルはカーブした壁に沿って道で回りました。メアは、最後のものが曲の周りに消えるまでそれらに従った。初めてランドマークを選ばずに行って来ました。

アーチの下





アーカイブの写真

Mea Zen

昔のアーチの下には、突然彼女が来た道を認めた。手のひらに2本のラインを手帳に乗せて、端のアーチが少しずつ入った。通りを出て、再びコーンを見ました。しかし、彼女はそれに従う必要はなくなりました。

Mea Zen Free · Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第146話

まるく切り取った空

シントラ・メア・ゼン、コロンビーヌ、ル・チア

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

小さなもの





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

シントラショップコロンビーヌでは、ドアの最小オブジェクトを見ました。メアは、装飾の上にスパイラルで1つのスポットを思い出しました。ル・チアは、店舗の上の別のスパイラルを検索しました。

風の中で





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

壁に映る明るい装飾。コロンビーヌは、すべての側面を見るのを待っていた。風が無期限に回すことができ、彼らはまだ丘の上を歩く時間があると、最終的に彼女は強制的に、風はそれを強制的に回すことができると述べた。

急な通り





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

ル・チアの急な通りに戻ってみる。店内は目前に見えていました。メアは、その上に壁に同じ色を発見しましたが、その3つは、次のアーチほど、少なくともそれに従うことにしました。

光の輪





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

丸い窓で、ついに一緒に見上げました。小さな空を抱える中心。メアは、彼らの散歩が小さなオブジェクトで始まり、最後のビューでさえ片手で覆われている可能性があることを指摘した。

Mea Zen Free・Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第147話

折り目のあるページに谷を描く

ドウロ渓谷・Mea Zen

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

霧の端に





アーカイブの写真

Mea Zen

谷のメアの上には、彼女のノートブックを半分だけ開いていました。川の向こう側を抱きしめているので、図には1つの目に見える銀行が十分だった。折り紙のブランクを越えた紙を左に。

第2回ビュー





アーカイブの写真

Mea Zen

ぶどうの列を数列作ってみると、少し遠い。川の上を上から追加しようとしたが、それぞれに混み合った。ノートブックを広く開き、その間に斜面を描きました。

ミストの曲





アーカイブの写真
Mea Zen

別のベンドが現れたとき、最初の銀行の継続のようなページを見ました。メアはそれをコミットする前に少し長く見ていました。それから彼女はそれらを結合するのではなく1ラインを軟化させました。

このページは広くレイアウトされています





アーカイブの写真

Mea Zen

最後の停止で彼女は彼女のノートブックを完全に開いた置いた。真ん中に折り目が残っている。そこでは、最初から見た谷の量と、その道に沿ってどれだけ出現したかを記憶するのを助けたからです。

Mea Zen Free · Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第148話

谷の最後のひと重

ドウロ渓谷・メア・ゼン、コロンビーヌ、ル・チア

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

最初の銀行から





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

メア、コロンビーヌ、ル・チアは、谷がまだ少し霧を抱いた場所を止めました。それぞれの場所は、次の停留所で見たい場所を選びました。彼らが合意したのは、川の近くにあるべきだということでした。

テラス





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

テラスを眺めながら、丘に面したテラスを眺める。コロンビーヌは最長のラインで始まりました。ル・チアは、短時間で始まりました。それぞれのページが現れたとき、メアはそれぞれ同じ斜面の部分を発見しました。

別の丘





アーカイブの写真

Mea Zen · Colombine · Lu Cia

朝の視界の端から特徴がほぼ中央にありました。ル・チアは川の間違った部分を思い出した時に笑いました。コロンビーヌは、二人がスケッチで会った場所を彼女に見せました。

帰り道のため





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

太陽の光を浴びて1つのテラスに触れる。メアは彼女のノートブックをシャット。帰り道では、彼らと一緒に取るためにビューに同意する必要はありませんでした。それぞれが彼女自身を連れていた。

Mea Zen Free・Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第149話

四つの敷居

ポルトガル・Mea Zen

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

ブラガの石段で





アーカイブの写真

Mea Zen

ブラガで、メアは二段目の階段に腰を下ろした。一段目だと、ドアを開ける人の邪魔になる。二段目からなら通りも空も見えるし、誰も彼女をよけて歩かなくてよかった。

石の敷居





アーカイブの写真

Mea Zen

ギマランイスでは、ドアのどこにも書かれていない招待状を、いつの間にか読んでいた。視線がすり減った石をたどる。ここで一度足を止めてから中に入った人は、どれくらいいたのだろう。

マフラの宮殿前広場



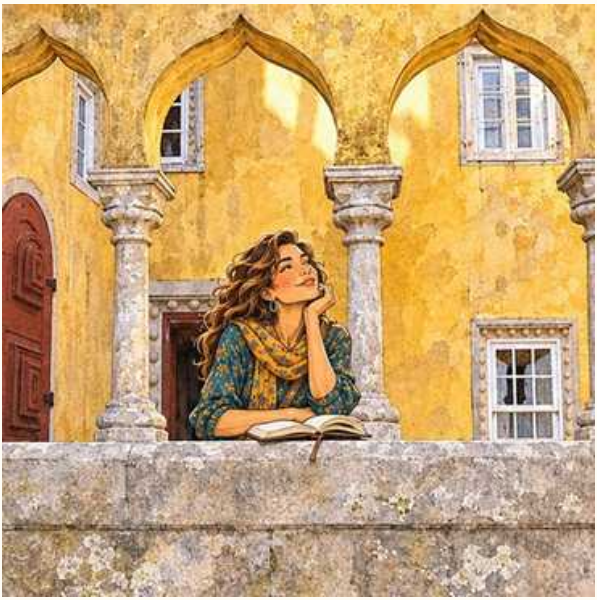


アーカイブの写真

Mea Zen

マフラの入口はとても広く、敷居に立っている感じはほとんどしなかった。それでも数歩進むと背後のざわめきが遠のいた。やっぱり境目を越えたのだ。耳がそれを教えてくれた。

黄色いアーチの下で





アーカイブの写真

Mea Zen

シントラでは、ひなたと日陰の境目にしばらく立った。そこでようやく気づいた。入るか立ち去るか決めないまま、立ち止まれる場所を一日じゅう探していたのだ。メアはその瞬間を書き留めた。矢印はつけずに。

Mea Zen Free · Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第150話

城壁のまなざしの先

ポルトガル・Mea Zen

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

丸い稜堡





アーカイブの写真
Mea Zen

オビドスで、メアは稜堡にぴったり寄り添うように歩いた。初めに見えたのは一つひとつの石だけだった。少し離れると、石はつながってひとつの曲線になった。近づくたびに、その巨大な建造物はまた、手を伸ばせば届く壁に戻った。

塔々





アーカイブの写真

Mea Zen

塔のそばで、城壁がどこで途切れるのかと目を凝らした。下から見上げると石の終わりは見えたのに、そのぎざぎざの輪郭は影になって地面まで続いていた。この二つ目の塔は、雲が通るたびに形を変えた。

城壁の下の草





アーカイブの写真
Mea Zen

城壁の下の日陰で、メアは柔らかな草のひとむらを見つけた。スケッチでは大きな壁を描きかけのままにして、草のほうを最後まで描いた。長いあいだ足を止めてしまうのは、いつもこんな見過ごしそうなものの前だと、ふと思った。

もうひとつの輪郭





アーカイブの写真

Mea Zen

そのあとバターリャでも、メアは空を背にした石を見上げた。ここでは空との境目が、いくつもの尖った先端へとせり上がっていた。もう一枚別の絵を描く代わりに、紙を裏返し、同じ壁の向こう側の光を描いた。

Mea Zen Free · Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む

第151話

もう少しだけ、川のそばで

ドウロ渓谷・メア・ゼン、コロンビーヌ、ル・チア

旅先で撮った写真から生まれた、イラストで読む創作の物語です。

最後の展望台





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

「ここが最後の展望台」とコロンビーヌが告げた。ル・チアが、地平線を渡る光のまだらが動かなくなるまで待ってと言った。メアには、それがすぐには終わらないとわかった。肩からかばんを下ろした。

友だちのスケッチ





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

三人はノートを交換した。コロンビーヌのページには、メアがまるで気づかなかった丘があった。ル・チアは、メアが書き始めたまま終わらせるのを忘れた一文に笑った。一日じゅういっしょに歩いたのに、三人はそれぞれ違う旅を読んでいた。

続きを書くための余白



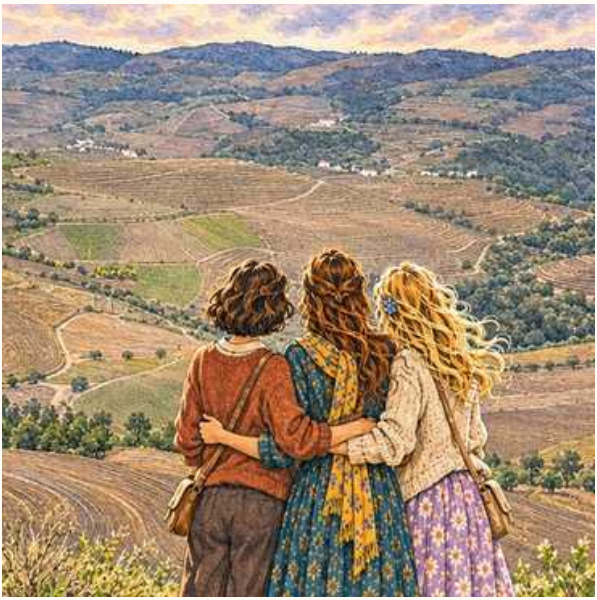


アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

三人はそれぞれ白いページに、もう一度訪ねたいところを書いた。ル・チアは川の小さな曲がり角。コロンビーヌはぶどう畑が始まる場所。メアはしばらく自分のページを見つめ、そこに二人の名前を加えた。

もう少しだけ





アーカイブの写真

Mea Zen・Colombine・Lu Cia

帰る時間になっても、誰もすぐには立たなかった。もう光を待っているわけでもなかった。谷が最後の一行をせがむのをやめたように思えるまで、ただそこに座っていた。三人はノートをそのページに開いたまま、持って帰った。

Mea Zen Free・Colombine MichelangeLove

Travel2Cityでこの物語を読む